

| 会 議 録 | | | |
|-----------------------------|---|------|-------------------|
| 令和元年度 第19採択地区教科用図書 第2回選定委員会 | | | |
| 招集年月日 | 令和元年7月12日(金) | 開会場所 | 行田市教育委員会 2A会議室 |
| 開閉の時刻 及び宣言者 | 開会 7月12日(金) 9時30分 閉会 7月12日(金) 16時15分 | 司会 | 学校教育課長 |
| 会長 | 行田市教育研究会長 | 副会長 | 中学校校長会長 |
| 席次番号 | 出席の委員 | 摘 要 | |
| 1 | 行田市教育研究会長 | | |
| 2 | 小学校校長会長 | | |
| 3 | 中学校校長会長 | | |
| 4 | 学校教育課長 | | |
| 5 | P T A連合会長 | | |
| 議 事 参 与 者 | | | 書 記 |
| 学校教育課指導主事兼主幹 | | | 学校教育課指導主事兼主幹 |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|-------|---|
| 司会 | 開会 |
| 会長 | あいさつ |
| 司会 | 資料確認 |
| 司会 | 協議に入らせていただく。協議の進行については、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第9条2項により、第18採択地区教科用図書選定委員長様をお願いする。よろしく願います。 |
| 会長 | はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。 |
| 会長 | <p>【全委員承認】 事務局。傍聴される方は、来られているか。 傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いする。</p> |
| 事務局 | <p>（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明</p> <p>（傍聴人着席）</p> |
| 会長 | 事務局より研究結果報告について説明をお願いする。 |
| 事務局 | <p>本日の研究結果報告だが、教科ごとに全部の教科書について、調査員が作成した資料「第19・20採択地区教科用図書研究結果報告書」に基づいて報告する。報告後、質疑応答の時間となるが、報告書と調査員会での話し合いの内容に基づき、お答えさせていただきます。報告は、資料「令和2年度使用中学校教科用図書一覧表」及び「令和2年度使用小学校教科用図書一覧表」の順で行う。また、各教科書の分量等の報告については、埼玉県教育委員会の調査資料をご参照願う。 質問はあるか。</p> |
| 会長 | それでは、始めに令和2年度使用中学校教科用図書の国語からの報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新編 新しい国語」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字道場」「日本語探検」「文法の窓」（巻末に文法解説）で、知識を段階的に身につけるよう構成している。 ・学習材のはじめと、「てびき」に目標を示し、「読み取る」「考えを深める」の設問を設け、学習の手順や学び方を提示している。 ・「四季を楽しむ言葉」「四季を彩る言葉」「四季を味わう言葉」として、四季の味わい豊かな日本の風土から生まれた言葉、生活の中から生まれた言葉、歌や句に多く詠まれた言葉を巻頭に掲載している。 ・カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインを採用している。さらに、日本のことについて、新たな発見ができるような内容が多く取り上げられ、今日的課題に対応した内容を、各学年に配置している。 <p>「中学校国語」（学校図書）</p> |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を高めるため、単元末や領域の最後に文法や漢字の学習を設定している。また、巻末にまとめられた「言語の学習」の中にある文法の学習では、更に詳しい解説を示している。 ・筆順の難しい漢字の一覧がある。 ・図、絵、写真を適所に配置し、絵画や鮮明な映像など教材の内容に併せて効果的に扱っている。 ・習得した学習内容を、活用できるよう、繋がりのある単元配列になっている。また、各学年の共通単元名のもと、視点を家族から未来、そして自分自身を見つめる内容として系統的に構成している。さらに、道徳性を意識した教材の採用により、言語を通して、創造性、協調性を養う内容が採用されている。 <p>「現代の国語」(三省堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと、聞くこと」「書くこと」の領域では、「学習の流れ」、学習内容のポイント、「学習を振り返る」が示されることによって、思考が深められるよう構成されている。 ・私たちの生活の中に伝統文化が深く根付いていることを実感し、郷土を愛するとともに他国も尊重できる態度を養えるよう、古典教材の音読や、落語や歌舞伎、能・狂言が多くの資料とともに配置されている。 ・とじこみで、説明文の構成や小説のまとめ方のポイントが示されている。 ・単元構成は、各学年とも、同じ領域ばかりが続かないよう考慮して教材が配置されている。 <p>「伝え合う言葉」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成のために、友達の意見を聞いて交流する活動や、話し合う活動、自分の意見を書く活動を取り入れ、学年ごとに計画的、系統的に学習できるように構成している。 ・図書リストは「読んでみよう」「本の世界へ」で表紙写真を紹介している。 ・教科書体を使用し、判別しやすい配色やレイアウトを使用している。 ・各領域の学習活動を言語事項、コラムとともに、一つのまとまりのある単元構成にしている。それぞれの教材を、各領域に渡って関連づけた学習活動ができる構成となっている。 <p>「国語」(光村図書出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韻文教材が各所に散りばめられ、年間を通して触れる機会が多くなる構成となっている。また、学習を通して豊かな表現に触れられるよう、さまざまなリズムや形式の詩や古典を取り上げている。 ・学習する季節ごとに「季節のしおり」を掲載し、四季にちなんだ言葉や作品の一節を紹介している。俳句・短歌と共に季節感を育てる絵や写真が日本の伝統的な言葉に触れる機会となっている。 ・既習事項や先の学習に結び付けられるようにリンクが示されている。 ・指導内容によって系統的に学習できるような構成になっている。学年ごとも相互に関連して、既習事項を生かしながら新しい学習ができるような構成になっている。以上です。 <p>会長</p> <p>質問はあるか。</p> <p>委員 B</p> <p>東京書籍の「今日的課題に対応した内容」とあるが、具体的にどのようなことが取り上げられているか。</p> <p>事務局</p> <p>ニュースの見方や東日本大震災についての教材がある。</p> |
|--|--|

| | |
|------|---|
| 委員 D | <p>国語の場合、教材が大きな影響を与える。教材の作品や各教科書の特徴についてはどうか。</p> |
| 事務局 | <p>学習指導要領に基づいて検定を受けた教科書であり、学習内容を網羅したものとなっている。教材は、一覧にすると多少ばらつきがある。各教科書会社で苦慮した中で、適切な数の教材を設定している。学習上の問題はない。</p> |
| 委員 C | <p>学校図書の「道徳性を意識した教材」とは何か。</p> |
| 事務局 | <p>単元名が「絆」「生命」「群像」「伝統」「世界」となっており、単元そのものに道徳性を意識した単元が多く存在しており、教材も道徳性を意識した教材が採用されている。</p> |
| 会長 | <p>次に書写の報告を願う。</p> |
| 事務局 | <p>「新編 新しい書写」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆においては、点画の書き方や字形の仕組みなど基本を押さえ、部分と部分の組み立て方では色分けして位置や大きさを認識しやすく示している。 ・毛筆の学習後に、他の文字にも生かせるよう硬筆教材を配置し、両者を関連させながら学習に取り組めるよう構成している。 ・好きな言葉を書体や用紙、筆記具を選び、文字の大きさや配列に注意して全体の調和を考えながら書く活動を設けている。 ・身の回りのさまざまな文字を意識させ、多様な文字の種類に目を向けさせるきっかけとして、各地の名所を紹介している。 <p>「中学校書写」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点画の基礎・基本を身につけさせることができるように、硬筆では「なぞり書き」「写し書き」を設け、毛筆では「かご書き」「ほね書き」を紹介している。 ・筆記具の特徴の違いを活用し、書写を生活の中に生かす工夫の具体的な事例について説明している。 ・「書写の窓」のコラムでは、書写に興味関心を持たせる内容を満載し、様々な場面で役立つ資料によって学習者を自然に引き込む工夫をしている。 ・中学校では学習しない臨書など発展的な内容も紹介し、興味関心を喚起する内容も組み込んでいる。 <p>「現代の書写」(三省堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本となる字形や筆順を押さえ、点画の組み立て・部分の組み立ての復習を行い、文字の中心・感覚・方向など注意する点を具体的に示している。 ・「学習のまとめ」では、そこまで学習した書写技能を取り上げ、その技能をさまざまな硬筆文字に展開できるように工夫している。 ・教材の冒頭の「考えよう・話し合おう」に目標についての問いを設け、自ら考えることから学習に入れるようにしている。 ・古典の書や詩歌を適宜紹介しながら、伝統的な文字文化の現代へのつながりに触れることができるように配慮している。 <p>「中学 書写」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込み欄は、生徒自身が問題解決を図るよう設定されているため、書写力の定着を図ることができるようにしている。 ・「考えよう」において、目標に関する事項について思考して気付けるようにしている。 ・発展教材や補充教材を取り上げ、個に応じた学習に対応できる |

| | |
|------|---|
| | <p>ようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な書式の「色紙」「短冊」を適宜取扱うとともに、「年賀状」「新聞」「手紙」など書写が生活の中でどう働いているのかなど、文化を尊重する態度を養えるようにしている。 <p>「書写」(光村図書出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材は、①目標確認、②文字の原理・原則の理解、③実際に書いて確かめ、④自己評価、という構成である。何を学び、どんな力を身につけるかを焦点化して示してあり、三年間の見通しを持って学べるように工夫している。 ・教材ごとに自己評価「学習を振り返る」を設け、ねらいを確認して、書写力を高めるようにしている。 ・「学習の窓」を設け、文字の特徴や書き方を理解するヒントを示している。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 E | 手本の見やすさ・大きさが各会社により違うが、話題にはあがったか。 |
| 事務局 | 国語の教科書と同じように、どの会社もユニバーサルデザインに意識して、色遣い、文字の大きさに配慮されていると報告があった。 |
| 委員 C | 国語の教科書と会社を合わせたり、小中一貫の観点から小中で教科書の会社を合わせたりすることについてなど、話題になったか。 |
| 事務局 | その点については話題にならなかった。 |
| 会長 | 次に社会の報告を願う。まずは、地理的分野から願う。 |
| 事務局 | <p>地理的分野について報告する。</p> <p>「新編 新しい社会」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会科で習得すべき知識や概念が過不足なく盛り込まれてあり、特に、生徒がつまずきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、知識の定着を確実にするよう工夫している。 ・毎時間、資料等からわかることを言葉で説明する課題が示されていて、言語活動の習得ができるようになっている。 <p>「中学社会 地理 地域に学ぶ」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きのまとめには、学習課題に対応した「ふりかえる」コーナーが設けられ、ステップ1では、本時の学習内容の確認ができるように工夫されている。 ・「ふりかえる」のステップ2では、地理的事象についての説明や表現活動について設問されており、思考力等を高められるよう工夫されている。 <p>「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」(帝国書院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生・環境・防災というテーマのコラムにより、現実を見据えた地理的な見方ができるよう工夫されている。 ・世界や日本の諸地域の学習では、各地方で生活する人による話が豊富に盛り込まれ、実際の生活の様子や現地の考えが学習しやすいようになっている。 |

「中学社会 地理的分野」(日本文教出版)

- ・見開き2ページの終末に「学習の確認と活用」が示されており、「学習課題」に対応した理解を確認できるよう工夫されている。
- ・コラム「地理+α」や特設ページ「自由研究」「地域からのメッセージ」など、世界や日本の現状が示されていて、学習意欲の向上に配慮されている。

続けて歴史的分野について報告する。

「新編 新しい社会 歴史」(東京書籍)

- ・1単位時間の紙面を、導入資料→学習課題→本文→確認の流れで構造化し、毎時間、既習事項をもとに言葉を使って説明する課題が示されている。
- ・「確認」のコーナーでは短時間で説明や要約などの言語活動を行い、1単位時間ごとに学習内容をまとめることができるよう工夫されている。

「中学社会 歴史 未来をひらく」(教育出版)

- ・「郷土の歴史を探ろう」で、歴史的事項を郷土との関わりの中で主体的に学ぶことができる工夫がされている。
- ・領土をめぐる問題については、地図資料を用いて紹介されている。

「中学 歴史 日本の歴史と世界」(清水書院)

- ・章末の「まとめてみよう」で、学んだ内容を自分の言葉で表現することを促す学習活動が各時代に設けられている。
- ・巻頭において、写真などを用いて時代ごとに特色を把握しまとめるための工夫として「キャッチコピーづくりをはじめよう」を提示している。

「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」(帝国書院)

- ・基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「技能をみがく」、学習した知識・概念を確認する「学習をふりかえろう」が設けられている。
- ・「タイムトラベル」を観察することで当時の暮らしを調べようとする主体的な学習を促す役割がなされている。

「中学社会 歴史的分野」(日本文教出版)

- ・「先人に学ぶ」では我が国の歴史や文化において功績を遺した人物を紹介し、自国の歴史や文化を誇れる内容となっている。
- ・見開きの上部に学習内容の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。

「新版 新しい歴史教科書」(自由社)

- ・各章のまとめごとに歴史豆辞典と称し、100字用語解説を掲載して基礎的・基本的な知識を習得しやすくしている。
- ・章末の「○○とはどんな時代か」では、時代比較・人物比較・「ひとこと」作文を通して、自分の言葉でまとめ、表現するようになっている。

「新編 新しい日本の歴史」(育鵬社)

- ・「歴史の名場面」や「人物クローズアップ」等の読み物資料から生徒の興味関心を引き出し、主体的に学習できるように工夫されている。
- ・各章の冒頭に「鳥の目」・「歴史絵巻」を設け、歴史の大きな流れが大観できるように工夫している。

「ともに学ぶ人間の歴史」(学び舎)

- ・豊富な写真資料が用いられており、生徒の興味・関心を高め、主体的、意欲的に取り組めるよう工夫している。
- ・各時代には、「学習のまとめ」があり、他の時代との共通点や相違点に着目し、表現することでその時代の特色をとらえる学習が設けられている。

続けて公民的分野について報告する。

「新編 新しい社会 公民」(東京書籍)

- ・平易な本文記述がされており、特に重要な事項や生徒がつまづきやすい事項の理解のため、巻末の「用語解説」で補足している。
- ・学習内容に合った写真や表、グラフ、読み物などを効果的に配置している。

「中学社会 公民 ともに生きる」(教育出版)

- ・「ふりかえる」コーナーで授業内容を振り返り自分の表現で説明する課題が設定されており思考力・判断力・表現力を身に付ける工夫がされている。
- ・イラストなどを効果的に使い意欲を引き出す工夫がされている。

「中学 公民 日本の社会と世界」(清水書院)

- ・本文は平易で的確であるとともに、重要なポイントを確実に押さえられるよう配慮されている。
- ・巻頭に使用されている記号や説明、特設ページの説明が明記されている。

「社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして」(帝国書院)

- ・「トライアル公民」のコーナーが設けられており、様々な社会問題について意見をまとめたり話し合ったりできる構成になっている。
- ・一時間ごとに学習課題や、まとめの方法が示されている。

「中学社会 公民的分野」(日本文教出版)

- ・見開き左ページに、キーワードとなる言葉が示されている。また、右ページには「学習の確認と活用」として、学習した内容が確実に定着できるように構成されている。
- ・抽象的な社会のしくみを具体的にイメージできる図版が豊富に掲載されている。

「新しい公民教科書」(自由社)

- ・「学習のまとめと発展」において、章で学習してきたことを400字でまとめる欄が設けられており、思考力・判断力・表現力を高められるような配慮がなされている。
- ・世界の偉人や、日本の偉人についての資料が豊富である。

「新編 新しいみんなの公民」(育鵬社)

- ・「学習のまとめ」では、章で学習したことをもとに、現実の問題について考えさせる構成になっている。
- ・「理解を深めよう」のコーナーで、民主主義の発展に貢献してきた世界の偉人を紹介し、理解が深まるようになっている。

続けて地図について報告する。

「新編 新しい社会 地図」(東京書籍)

- ・資料のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを設けることで資料を読みとる力を高め考察を深められるよう工夫されている。

| | |
|------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に統計資料を豊富に掲載し、面積や人口、国内総生産、農業や工業の生産額など世界や日本の基礎的なデータにより、生徒が地域的な特色をとらえやすいよう工夫している。 <p>「中学生社会科地図」(帝国書院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳の使い方」や「地図の要素」で、読図の視点や方法が示されており、基礎的・基本的な技能の習得ができるよう工夫されている。 ・環境問題や災害問題の特集したページを設け、環境問題や防災に係る資料図を掲載することで今日的な課題の考察を深める工夫がされている。以上。 |
| 会長 | 社会全般に関して、質問はあるか。 |
| 委員 D | 地理的分野について、東京書籍は色覚特性について書かれているが、他の教科書はどうか。 |
| 事務局 | 東京書籍以外についても配慮されている。 |
| 委員 A | 歴史的分野について、歴史上の人物の読み方、特に外国人の読み方は学習指導要領に指示などはあるのか。 |
| 事務局 | 特にない。 |
| 委員 B | 2社の色合いやコントラストが違いうが話題としてあがったか。 |
| 事務局 | 話題にはなったが、どちらがよいというような話にはならなかった。 |
| 会長 | 次に算数の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新編 新しい数学」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びあい」のコーナーでは、式や図などを使って、多様な考えを伝え合い、深めていく言語活動を通して、数学的な思考力や表現力を伸ばす問題が用意されている。 ・側注に、問題解決の進め方を示してあり、学び方が身に付くようにしてある。 <p>「新版 数学の世界」(大日本図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な思考力、表現力を養い、学習した内容を活用する力を育てるために、各ページの学習活動は、予想をしたり、解決のしかたを考えたりする過程を大切にするなど数学的活動がしやすい構成となっている。 ・章末の「いろいろな問題」「挑戦しよう」「もっと数学!」、巻末の「小学校の復習」「まとめの問題」など、活用問題、発展的な学習の課題が掲載されている。 <p>「中学校数学」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章のまとめの問題には、章で学んだことがらを身のまわりの場面や、数学の学習に活用する課題を設定している。 ・学習を進める上で抱くであろう素朴な問に対して、適切な箇所に応じて、次への学習へ目を向けやすくなっている。 <p>「中学数学」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学の基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現や処理のしかたを習得するために、章の入口にはその章に関連する既習内容を確認するページ、出口には学習した基礎的・ |

| | |
|------|---|
| | <p>基本的な内容をまとめるページを設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」や「実力アップ問題」では、学習内容をさらに深めたり、広げたりする課題が提示してある。 <p>「未来へひろがる算数」（新興出版社啓林館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにし、筋道を立てて説明する言語活動の場面が設定されている。また、今日的課題である思考力・判断力が学習の中で培われ、一人ひとりが多様な個性・能力をさらに伸ばして創造力が養われるよう、「千思万考」、「ひろがる数学」を設け、利活用の場面を増やし、学力の定着、向上、実践力育成のための工夫がある。 ・解答例をノート形式で示し、ノート指導に生かせるようにしている。 <p>「中学校算数」（数研出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末問題は、標準的なものを中心に、様々な問題を集めている。また、これらの問題を通して、章全体にわたる学習事項の理解を確実にすることができるよう工夫されている。 ・章の最後には、『知識を活用しよう』のコーナーがあり、身のまわりの問題を、身につけた知識や考え方を活用し、解決できるような課題が設定されている。 <p>「中学数学」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を思い起こすための「次の章を学ぶ前に」を、すべての章の直前に設けている。 ・数学的活動や言語活動に取り組むために、「見つけよう」「生活への利用」「説明しよう」が各小節にある。以上です。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 E | 小学校から中学校でつまずきやすいところはどこか。 |
| 事務局 | 話題としてはあがっていないが、どの教科書においても系統性を意識して作られているという話はあった。 |
| 委員 C | 教科書の難易度などについてはどうか。 |
| 事務局 | 特に話題としてはなかった。 |
| 会長 | 次に理科の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新編 新しい科学」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでに学んだこと」で既習事項を確認し、「まとめ」や「章末問題」で復習し、「学習内容の整理」「確かめと応用」で繰り返し学習できるようになっている。 ・巻頭で探求の流れを示し、教科書の使い方を説明している。また、「レッツトライ」で課題を発見させたり、現象の写真から課題を提示するなど、主体的に学習させるための工夫をしている。 ・教科書のサイズがやや幅広のつくりになっていて見やすい。 <p>「新版 理科の世界」（大日本図書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら探究に取り組めるよう、「わたしのレポート」「各単元の終章」等でその方法や結果例を具体的に紹介している。 ・「くらしの中の理科」では科学と日常生活や社会と関連する事象を取り上げ、科学を学ぶ意義や有用性を意識させるようになっている。 ・グラフを用いる線が複数ある場合は、線の色や種類を変えた |

| | |
|------|---|
| | <p>り、線の意味を言葉で説明したりしている。</p> <p>「中学校科学」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでに学んできたこと」「例題」「問い」章末や単元末の「学習のまとめ」等で基礎・基本の定着を図っている。 ・「科学の窓」で学習内容と関連する事象を取り上げたり、単元末の「科学を仕事に活かす」で職業を紹介したりして日常生活との関連を学び、科学を学ぶ意義や有用性をとらえられるようになっている。 ・学習内容と関連した職業を紹介するなど生徒の興味・関心を高めている。 <p>「自然の探究 中学校理科」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとに「要点をチェック」を設け、細かい単位で学習を整理できるようになっている。また、「基本技能」を観察・実験前と巻末資料に設け、基礎的な技能を習得させるようになっている。 ・観察・実験では、方法・結果・考察を別々の欄に配置し、考察が導きやすい構成になっている。 ・巻頭で「理科学習の進め方」を示しており、中学校での学習の進め方がわかるようになっている。また、学年別の3分冊とし、それぞれ前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっている。 <p>「未来へひろがるサイエンス」(新興出版社啓林館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返り」で既習事項の確認をし、「学習のまとめ」や「マイノート」で復習することができる。 ・「はたらく人に聞いてみよう」や「ひろがる世界」というページがあり、日常生活との関連について記載し、科学を学ぶ意義を考えさせている。 ・観察・実験では注意が必要な箇所に、マークと注意事項を朱書きしている。「地域・環境資料集」で環境保全への関心が高まるようになっている。以上。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 D | 安全性への配慮について、「注意」表示や「危険」表示等があるが、調査研究の中では、話題にでたのか。 |
| 事務局 | 理科の授業では、安全面への配慮は大変重要である。どの教科書についても、安全面についての十分な配慮がされており、注意が喚起されている。 |
| 委員 A | 実験の安全性についてどの教科書も触れられていて注意書きがあるが注意喚起の分かりやすさの点ではどうか。 |
| 事務局 | 5社を比較したとき、たくさんの注意書きを示している教科書もある。また、その中で絞って注意書きをしている教科書もある。 |
| 会長 | 次に音楽・一般の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「中学音楽」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力につなげるための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示し、学習の観点が明確になるように工夫されている。 ・「さまざまな音楽文化」の中で「日本とアジアをつなぐ音」「日本と世界をつなぐ音」を聴き取り、音楽文化の共通点・相違点を探る教材を設定している。 |

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインにより、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫がされている。 <p>「中学生の音楽」（教育芸術社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材には、学習目標と具体的な手順がわかりやすく示され、生徒の興味関心を惹くような内容でワークシートも構成されている。 ・我が国や世界の音楽文化の特徴やよさを感じ取るために、日本の歴史から西洋音楽史を捉えるコーナー、聴くポイント、写真が掲載されている。 ・生徒の発達段階に応じて、多くの生徒が無理なく取り組める音域の中で教材を選択・開発している。教材ごとに〔共通事項〕と関連させ、学習の目標が設定されている。 <p>続けて「音楽・器楽合奏」の報告をする。</p> <p>「中学器楽」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで掲載され、リコーダー・ギター・和楽器の基礎的な知識や基本的な奏法などの説明がされている。 ・楽器やパートを選んだり、旋律やリズムを組み合わせて伴奏をつくったりする活動が設定され、生徒が主体的に学習できる構成になっている。 ・リコーダー・ギター・和楽器と多種にわたる楽器が取り上げられておりそれぞれの楽器の名手から中学生へのメッセージが掲載されている。 <p>「中学生の器楽」（教育芸術社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器とも難易度が吟味され、兵な練習曲から学習が進められるようになっている。「My Melody」は、創作活動に取り組めるように設定されている。 ・鑑賞や創作がリンクしたものと、和楽器を扱ったアンサンブルも掲載されている。 ・重要な学習事項が優先的に目に入ってくるシンプルなデザインになっている。ユニバーサルデザインが考慮され、色彩や文字が工夫されている。以上。 |
| 会長 | 音楽全般について質問はあるか。 |
| 委員 B | 「音楽・一般」について、合唱曲の曲数に差があると感じるかどうか。 |
| 事務局 | 曲数については、教材の中から選択をしていくので特に問題はないという見解である。 |
| 委員 E | 「音楽・器楽合唱」について、和学器について取り上げられているが、各学校とも基本的な楽器はあるのか。また、その学校によって違うのか。 |
| 事務局 | 和学期については、備品として整備されている。 |
| 委員 A | 発展の中に笛の設計図があるが、学校では使用しているのか。 |
| 事務局 | 学校の実情に応じて、取り組んでいる。 |
| 会長 | それではここで10分間の休憩とする。 |
| | 【休憩】 |

| | |
|----------------------|---|
| <p>会長</p> <p>事務局</p> | <p>次に美術の報告を願う。</p> <p>「美術」（開隆堂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考、判断するきっかけとなる問いかけや見出しが効果的に掲載されている。発想のヒントや作品完成までのアイディアスケッチ例が示されている。 ・題材ごとに、学習の動機付けとなる言葉(投げかけ)や興味がわく作品例を提示し、生徒の主体的な学習活動を促す工夫をしている。 ・「原寸ギャラリー」では、実物を見ているかのように細かい表現方法まで鑑賞でき、共通の青い枠の具体的な問いかけが鑑賞のきっかけとなっている。 <p>「美術」（光村図書出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年巻末の「学習を支える資料」として、技法や用具の扱い方〔共通事項〕に関する資料、鑑賞の学習を深める資料が豊富に掲載されている。 ・見開きページ「特別展示室」では、美術作品の大きな図版に合わせ、詩が掲載されており、生徒の興味・関心を喚起する工夫がされている。 ・視点を生活にあてた作品や写真を多く掲載し、暮らしや社会とつながる活動へと促している。 <p>「美術」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに学びのねらいを具体的に示し、生徒の意欲を引き出し、主体的に取り組めるよう構成されている。 ・完成作品にいたるまでの生徒のアイディアスケッチや制作方法が示され、よりよい作品を追求するためのヒントになっている。 ・発達段階を踏まえて構成されており、題材ごとに学びのねらいやポイントなどが明記され、活用できるようにしている。参考作品や資料が豊富で美しく構成され、発想を深め、造形感覚や感性を育もうとしている。以上。 |
| <p>会長</p> | <p>質問はあるか。</p> |
| <p>委員 B</p> | <p>教科書にも原寸大、部分でも原寸大を示しているものがあるが、その点については話題としてあがったか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>小さい写真では、細かいところまで鑑賞できないので、原寸大があると細かいところまで鑑賞できるだろうということが話題としてあがった。</p> |
| <p>委員 D</p> | <p>開隆堂の「色彩ホームページ」とは、どういうものか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>「色彩ホームページ」は、巻末に配置され、色の三原色などの資料が提示されているものである。</p> |
| <p>会長</p> | <p>次に保健体育の報告を願う。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>「新編 新しい保健体育」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページを1単位時間で学習する紙面構成で、学習の流れが見える。また、学習の「キーワード」を別欄に設け、「確認の問題」を章末に設けるなど、基礎的・基本的知識が確実に習得できるような工夫が見られる。 ・発展的学習に関する注釈や「読み物」を別欄に設けたり、各ページ下に学習内容に即したクイズを設けたりして、興味が深ま |

| | |
|------|---|
| | <p>るような工夫が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章のはじめに「章の扉」を設け、小学校、中学校、高等学校で学習することが明記され、学習内容の系統性がわかるような工夫が見られる。 <p>「新版 中学校保健体育」(大日本図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習に「学習を活かして」を設け、学習内容を実生活において活用するための具体的な課題を示すことで、知識を活用・応用することを促し、実践力を育成するような工夫が見られる。 生徒の興味関心を高める話題等を「トピックス」として設け、内容の理解と定着を図るような工夫が見られる。 1単位時間の内容を、「今日の学習課題」「考えよう」「本文・資料」「学習を活かして」という学習の流れで構成する工夫が見られる。 <p>「保健体育」(大修館書店)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の最後に作業課題「Try」を設けたり、自分の問題として考えさせる課題である「challenge」や「活用」を設置したりするなどして、習得した知識を活用し、思考力、判断力、表現力等の育成を図るような工夫が見られる。 ディスカッション、ブレインストーミング、実習、課題学習の概要等について説明するページを設け、自ら考え、判断し、表現する力が身に付くようにする工夫が見られる。 カラーユニバーサルデザインにもとづき、グラフの表現や色づかいに配慮し内容を、視覚的にとらえることができる工夫が見られる。 <p>「新・中学保健体育」(学研教育みらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」などの作業課題を設け、知識を活用したり、話し合ったりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫が見られる。 各章の冒頭に、学習内容に関連した写真を使用して、見通しを立て、系統性を把握させるとともに、関連する人物の名言や功績、職業や資格を紹介し、実生活との関連が実感できるような工夫が見られる。 学習事項と関連性の深い「リンク」で、ウェブサイトを紹介し、自ら調べさせることで、主体的に取り組む姿勢を養い、より理解が深められるような工夫が見られる。以上。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 E | 教科書のサイズの違いについての話題はあったか。 |
| 事務局 | 特になかった。 |
| 会長 | 小中一貫教育の重要性がいわれ、小中で系統的に学習することの必要性が保健についても大切であるが、その視点で各教科書はどうか。 |
| 事務局 | どの会社の教科書も、系統性を意識したつくりとなっている。 |
| 会長 | 次に技術・家庭の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>技術分野について報告する。</p> <p>「新編 新しい技術・家庭」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の基本となる、計画、実行、評価、改善(PDCA サイクル)の流れを製作・制作・育成の場面でも統一的に示してい |

る。

- ・各内容において、基本題材と参考題材を配列し、各学校の授業時数や生徒の個性等に応じて題材を選び実習できるようにしている。
- ・ガイダンスから「技術分野の学習を終えて」まで、一貫してものづくりや技術の学習の大切さと将来にわたって技術を適切に評価し活用する能力と態度の育成を伝えている。
- ・実習や実験、保守点検などにおける安全や衛生のポイントは、「安全マーク」「衛生マーク」を付けて、生徒の注意を喚起し、安全・安心な実習が確実にできるようにしている。

「新技術・家庭」(教育図書出版)

- ・生徒の身の回りの問題を解決する製品の設計と製作、生物育成計画の立案、プレゼンテーションの練習やフローチャートの作成等、言語活動の充実を図る内容を取り上げている。
- ・実習題材内に「コツマーク」を付しており、「調べよう」「やってみよう」「考えよう」を本文中に組み込み、自ら探求できるようにしている。
- ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の行間に余裕を持たせ、読みやすさに配慮している。
- ・各内容は、導入から基礎的・基本的な学習内容、実習題材、まとめ、章末問題等で構成され、系統的に学習することができる。

続けて家庭分野について報告する。

「新編 新しい技術・家庭」(東京書籍)

- ・編ごとに「学習のまとめ」のページがあり、「学習をふり返ろう」「学習したことを確かめよう」の流れで、生活に必要な知識や技術を「基礎技能」にページにまとめたり、調理や制作の練習題材を設けたりして、基礎的・基本的な知識や技術を習得させる工夫をしている。
- ・「言葉のページ」では、家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称等について、その言葉を使って説明できるように解説している。
- ・各内容の学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、実践の流れを「1 課題の発見 2 計画 3 実践 4 振り返り、見直し 5 改善 6 次の課題」と共通した流れで示している。それぞれの実践例ではまとめ方や発表の仕方が明記され、実践における見通しをもたせるようにしている。
- ・「消費者」「マナー」「小学校」などの特徴的なマークでポイントを示している。

「新技術・家庭」(教育図書出版)

- ・内容ごとに「生活のふり返り」、「キーワードの確認をしよう」があり、生活に必要な知識や技術を身に付けさせたか確認することができる。また、実習前には小学校での履修内容を確認させ、「キーワードチェック」欄では、基礎的・基本的な知識・技能の語句を明確にして、重要語句を覚えさせるなどの工夫をしている。
- ・学習の導入のまとめでの問いかけによる、思いや気付きを伝え合う活動やロールプレイング、グループでの話し合い、地域の人びとへのインタビューなどの学習が盛り込んであり、コミュニケーション能力を高めさせる言語活動の場面設定をしている。
- ・各章の導入が見開きになっていて、「クイズ」「自立度チェック」を活用し、学習への関心・意欲を高めさせる工夫をしている。
- ・キャラクターのつぶやきは手書き風の書体であり、学習のポイントを示している。

| | |
|------|--|
| | <p>「技術・家庭」(開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容ごとに「学習のまとめ」のページがあり、「学習をふり返ろう」で生活に必要な知識や技術を見に付けさせたか確認することができる。また、実習の前には、基礎的・基本的な事項を小学校での履修内容から確認させるようにしている。基礎・基本と参考・発展等を区分した記述から学習内容の精選と重点が図れるようになっている。 ・各学習項目の基礎的な内容を身に付けさせるために、あらかじめ考えさせたり、調べさせたりする課題を提示し、学習への関心・意欲を高めさせる工夫をしている。 ・「参考」「探求」「豆知識」などのマークでポイントを示している。以上。 |
| 会長 | 技術・家庭について質問はあるか。 |
| 委員 E | 技術分野について、木工等で、大型工作機械を扱う授業は必ずはいっているのか。 |
| 事務局 | 特に話題としてはあがらなかった。基礎技能として教科書では取り扱っている。 |
| 会長 | 次に英語の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「NEW HORIZON」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び方コーナー」では、1年では辞書の使い方、2年では文の読み方、3年では文章のまとめ方等が掲載され、自学自習ができる内容となっている。 ・冒頭の2つの入門期パートで、慣れ親しんだ英語とそれを学ぶ楽しさを引き継ぎ、中学校で「読む」「書く」力を確実に習得できるようになっている。 ・巻末には Word List やコミュニケーション活動で活用する Bonus Word Box がイラスト付きである。1年生では手紙の書き方、2年生では将来の夢等に使える表現、3年生では日本の行事等が掲載されている。全体にイラスト・挿絵が生徒にとって親しみやすいものとなっている。 <p>「SUNSHINE」(開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・My Project を到達目標として各学年に3箇所設置し、日常の学習で習得した知識や技能を用いて、英語でコミュニケーションする場面を設定している。 ・最新の話題を用い、生徒の興味・関心を高める工夫がある。自国及び外国に関する知識・理解を深める幅広い題材で、豊かな感性を育むことができる。 ・4技能の総合的な育成を図るために、見開き2ページの中に「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を育成するための教材を配置している。また、学習目標を My Project として明確に位置づけ、生徒が各課、各セクションを学習する目的と見通しを把握できるようにしている。 <p>「TOTAL ENGLISH」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な言語材料は本文で何度も取り上げ、くり返し使用できるようにし、Lesson で学習したことを、復習・確認するために Review を設けている。 ・小学校で慣れ親しんだ「聞く」「話す」活動から始め、文字を導入した後で、音とつづり(フォニックス)の関係をとり上げている。 ・小学校で慣れ親しんできた表現 (I like.... / Do you like...? / I don't like...) から導入することで、「教科としての英語」 |

| | |
|------|--|
| | <p>に円滑に接続できること、また、初期の段階から日常の会話に近いコミュニケーションが英語でできることにより、生徒の英語学習への動機付けや興味・関心を高めることができる。</p> <p>「NEW CROWN」(三省堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project において習得した基本的・基礎的な知識、技能を活用できる力を育成する言語活動を設け、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。 • 教材内容・言語材料・言語活動のそれぞれについて、学年を追って難易度が上がり、各段階の生徒の発達段階に適合した内容が選択され、配列されている。 • 基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得すること、およびそれらの知識、技能を実生活の中で活用できる力を繰り返し段階的に育成できるような内容構成である。またその中で、多様な題材、豊富な資料を提示し、コミュニケーション能力を総合的、統合的に育成されるように配慮されている。 <p>「ONE WORLD」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「英語のしくみ」では、基本文を図解で示し、「Tips」では、各観点のポイントをわかりやすく解説しており、主体的に学習できる工夫がなされている。 • 有名なスポーツ選手を題材にし、生徒の興味・関心を引きつけるとともに、自国や多文化理解を深められる題材で幅広い知識・教養を身につけられる。 • 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を用いて基本的な知識や技能を身につけることができ、LessonのStep&Hopで定着した文法知識を用いて、JumpのTaskで実用してみるという構成が特徴的である。各Lessonに対話文と読みものが2つずつ設定され、偏りなく、段階的に学習できる仕組みになっている。 <p>「COLUMBUS 21」(光村図書出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Try It! では「聞く」活動のすぐ後にドリルで口頭練習を行うことで、「聞く」活動から「話す」「書く」などの自己表現活動を工夫している。 • 1年は身近な学校生活を話題にし、2年は地域に話題を広げ、3年では世界の国々との交流が話題となり、学年が進むにつれて広がりがある。 • グローバル時代を見据えて、新しい学習方法である内容言語統合型学習を取り入れている。また、道徳教育との関連、国際理解教育・人権教育や福祉教育・環境教育・キャリア教育・情報教育への配慮、社会情勢の変化への対応がなされている。以上。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | 小中連携の視点から、行田市は小学校段階では「英語活動」を実施しており、「聞く・話す」において力を入れてきたが、その観点で各教科書に工夫はみられるか。 |
| 事務局 | どの会社の教科書においても、小学校から中学校までのつながりを意識して生きた英語の教材や音声教材の活用がなされている。 |
| 委員 E | 今、筆記体の取り扱いはないのか。 |
| 事務局 | 資料として扱う程度である。授業などはブロック体で行っている。 |

| | |
|------------|---|
| <p>会長</p> | <p>皆様の御協力により、中学校全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。感謝申し上げる。これで専門員の教科用図書調査研究結果中学校の報告を終わりにする。 一度、事務局へおかせしする。事務連絡を願う。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>午後の開始時刻については、13時から開始になる。 午後の部は小学校である。 それでは、これより昼休憩とする。</p> <p style="text-align: center;">【昼休憩】</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、時間になったので、研究結果報告 午後の部 小学校を開始する。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>「新編 新しい国語」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を集め、文の中で使う練習をする「ことばあつめ」を設定している。巻末の「言葉の広場」を参照・活用することで、さらに豊かな語彙を身に付け、学習や日常生活に生かすことができるように工夫されている。 ・各領域の学習過程において、各所で児童が考えを伝え合う場面を丁寧に描写してあり、それぞれの考えを広げ深める、対話的な学びになっている。また、段階的に伝え合う力の育成が図れるようになっている。 ・「季節の足音」や「伝えたい言の葉」では、音読や表現活動を通して、言葉の響きやリズム、日本語の美しさを味わうことができるようにしている。 ・読書意欲を高めるため、著名人の読書経験や、おすすめ本を紹介している。また、読む教材に合った関連する本を案内文と写真で紹介している。 ・見通しをもって学習できるように、各単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」という構成にして、学習過程を明示している。 <p>「みんなと学ぶ 小学校国語」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな思考・表現方法を学び、演習を通して理解を深めることで、情報の関係付けや整理の仕方を身に付けることができるように工夫されている。 ・読む教材で学んだ事を活用して書く活動を行うなど「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫されている。「書くこと」では各学年「レッスン」を設け、指導事項に即した文章の書き方・まとめ方を示し、効果的に学習できる工夫がある。 ・各学年で「対話の訓練」と題し、コミュニケーションの取り方を学ぶ単元があり、言葉を通じた人間関係の構築に役立つ。 ・1年上巻から学校図書館に関する教材が設定されている。2～5年生で図鑑、百科事典、年鑑、インターネットでの情報検索を学ぶ教材がある。 ・入門期は、児童がスムーズに様々な学習を始められるよう、複数の教材を組み合わせて構成されている。 <p>「ひろがる言葉 小学国語」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方では、ポイントとなる文型や話型を示し、情報の関係付けや整理の仕方を捉えることで、他教科でも活用できるように工夫されている。 ・各領域の学習過程において、互いの立場を尊重しながら、課題の解決に向けて意見や感想を述べ合う「学び合い」の場を設け、伝え合う力の育成を図っている。 |

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・高学年では、言葉による伝え方や聞き方のトレーニングが一つの単元として設定されており、他者とのつながりを意識できるようになっている。 ・低学年から、学校図書館に関する読書単元が設定され、2～4年生で情報検索や情報活用の読書単元があり、系統的に学習が進められる。 ・学習の展開や段階を明示したり重点化を図って取り立てたりすることで、学習過程がはっきりわかり、見通しをもって学習できるように配慮されている。 <p>「国語」（光村図書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元で何を学んだかを明確化し、身に付いた知識や技能が他教科や日常生活にどう生きるのかを示すことで、実生活で活用できるように工夫されている。 ・読む教材で学んだことを活用させて書く活動を行い、「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫されている。案内状やお礼の手紙、報告文など実生活と結びついた活動となっている。 ・「声に出して読もう」や「季節の言葉」では、音読や表現活動を通して、言葉の響きやリズム、日本語の美しさを味わうことができるようにしている。 ・読む教材文に関連した本の紹介では、低学年では物語を中心に、高学年では物語や科学の他に、伝記や資料なども入れて幅広く紹介している。 ・「見通しをもとう」で「考えの形成」についての活動を設定し、単元の「ふりかえろう」で考えをもち、主体的に学習の確認ができるようになっている。以上。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 C | 光村の「情報」に特化した単元系列を設けているとあるが、具体的にどのような内容になっているのか。 |
| 事務局 | 相手の考えを理解したり自分の考えを伝えたりするための、情報の扱いに関する教材「情報」を学年に4カ所設け、主張と事例や、調べた情報の使い方などに関して学べるようになっている。 |
| 委員 A | 新学習指導要領の改訂の要点として、「読書指導の改善・充実」が挙げられているがそれぞれどのように扱っているか。 |
| 事務局 | どの会社とも低学年から系統的に読書に親しむ態度を育成するための単元系列を組み立て、読む教材文に関連した本の案内を幅広く紹介している。 |
| 委員 C | これからの国語科の学習内容の改善として、語彙指導の充実が求められているが、どのように明記されているか。 |
| 事務局 | 思考や表現の助けとなる、学年に応じた語彙感覚を広げる学習を取り入れている。 |
| 会長 | 次に書写の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新しい書写」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じて重点化しながら、系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫している。 ・文字例や問い掛けの文で課題への気付きを促したり、「振り返ろう」では話し合う活動を取り入れたりしている。 ・課題について考える際の手助けとなるように、キャラクターの |

吹き出し等を随所に配置している。

- ・各単元の「書写のかぎ」を集めることで一人一人に達成感を味わわせるとともに、上達したことを実感し意欲が高まるよう工夫されている。
- ・毛筆学習の後に、「生かそう」でその単元で学習したことを確認しながら硬筆で書く活動が設定され、教科書に書き込めるようになっている。
- ・国語の学習事項と合わせて指導できるように、教科書と同じ教材文や言語事項を取り上げている。

「みんなと学ぶ 小学校書写」(学校図書)

- ・「何が身に付いているか」を実感できるように、書写学習プロセスが示されている。
- ・児童の思考、判断を促し表現力の育成を助けるために、キャラクターの吹き出しを使って大切なポイントが説明されている。
- ・毎時の学習過程を1→2→3と「ふりかえり」で構成し、型を定着させて見通しを持って主体的に取り組ませるよう工夫している。
- ・毛筆学習の後に「生かして書こう」と「振り返ろう」があり、学習内容を確認しながら硬筆で教科書に書くようになっている。
- ・2年以上では、文字を書く機会に参考資料として活用できるように、巻末に「書写の資料館」として、はがき・原稿用紙・手紙の書き方が資料として添付されている。
- ・全学年を通して「書写の不思議」のコーナーで書写にかかわる身近なものに対する疑問を、写真資料を中心にわかりやすく紹介している。

「小学 書写」(教育出版)

- ・文字の大きさ、形、組み立てが視覚的に捉えられるよう工夫されている。
- ・「考えよう」を提示し、その答えを児童自ら考えさせるようにして、思考力を高めている。
- ・学習過程を1～7段階で細分化し、スモールステップで具体的な学習の進め方を示し、主体的に取り組ませるよう工夫している。
- ・低学年では、適切に運筆する能力を高めるために1年生の教科書の巻末に水書用紙が付いており、水筆や絵筆を使って運筆指導ができるようになっている。
- ・授業と合わせた指導ができるように、国語の教科書で学習した教材を使用している。
- ・全学年において、「知りたい文字の世界」のコーナーがあり、書写に関する知識に触れる事ができるようになっている。

「書写」(光村図書)

- ・「たいせつ」を設け、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を明確に示している。
- ・「たしかめようシール」を自分の書いた文字に貼ることで筆使いのポイントを確認し、学びが整理できるよう工夫されている。
- ・招待状、寄せ書き、メッセージカード、色紙など、自分の思いを相手に伝える多様な内容を示している。6年生では「自分だけの一文字」を掲載し、各界で活躍している人の考えや思いを知る内容を示している。
- ・毛筆の学習の後に「硬筆のまとめ」で学習した筆使いを確かめながら硬筆で書く活動を取り入れている。
- ・国語の授業と関連付けて学習できるように、教科書の教材とリンクしているので、教科書学習の参考資料として活用することも

| | |
|------|--|
| | <p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙面構成がシンプルであり、大切なところに視点が定まりやすい。 <p>「小学書写」(日本文教出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く姿勢や筆記具の持ち方は、写真やイラストを巻頭に大きく掲載し、丁寧に扱われている。 間違いやすい書き順の例、形が違う作品の例を出して、比べることにより、児童自らどこに注意すべきか考えさせている。 毎時の学習過程を1、2、3と自己評価で構成し、型を定着させて見通しを持って主体的に取り組ませるよう工夫している。 低学年では、適切に運筆する能力を高めるために、各学年の巻末に大きめの水書用紙が添付されている。 各学年の発達段階に応じて必要な「書くこと」に関する技能を身に付ける事が出来るように、絵日記や連絡帳などの書き方について学習できるようになっている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | 教育出版と光村図書では、国語の教材との関連が挙げられているが、具体的にどのように関わっているのか。 |
| 事務局 | 書くことの単元や短歌・俳句教材が関わっており、国語科の学習と一体的を扱うことで学習の必然性が見られる。 |
| 委員 A | 書写で学んだことを活かすことについて教材はどのくらいあったか。 |
| 事務局 | 調査員会議で日常との関わりとして、すべての教科書会社においてはがきや手紙の書き方、原稿用紙の書き方など日常生活に関わる教材が組み込まれていた。 |
| 委員 E | 子供たちの様子を見てみると、鉛筆の持ち方にあまり定着していない子供もいるように見える。鉛筆の持ち方や姿勢等について、どのように教科書で指導されているのか。 |
| 事務局 | 各教科書とも、教科書の最初の数ページを使って、筆や鉛筆の持ち方、姿勢について示してある。ページ数の違いはある。 |
| 会長 | 次に社会の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新しい社会」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> キーワードを「ことば」で解説し、「まとめる」で生かせるように工夫されている。また、「いかす」では学んだことを生活に生かす工夫がある。 「まなび方」コーナーが設けられ、学習場面に応じた調べ方や学び方が示されている。「Dマーク」では、児童の関心を引き出す工夫がある。 比較する資料を同じサイズで並べて掲載してあり、比較がしやすくなっている。 「まとめる」の学習で単元の学習問題とキーワードがまとめて記載されており、自分の考えを説明する活動の手助けとなるように配慮されている。 「ひろげる」では、地域の実態に合った様々な事例を取り上げ、地域社会に対する誇りや愛情を養うようにしている。 「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」などの学習過程をたどりながら問題解決的な学習を進めることができるようになっている。 |

- ・事例地に偏りがないう、学校や地域の実態等に対応する配慮がされているとともに、全体にわたり児童の興味・関心が高められるような資料が使われている。

「小学社会」（教育出版）

- ・「この時間の問い」と「次につなげよう」が示され、単元を通して学習の見通しが持てるように配慮されている。
- ・「学びのてびき」で何を考え、何を調べたらよいか明確に示されている。表やグラフが見やすく、親しみをもち学習できるよう工夫されている。
- ・複数の立場の人々のインタビューが掲載されており、多角的に考えることができるよう工夫されている。また、「まとめる」で学んだことを順位付けするなど選択・判断したことを表現する場面が設定されている。
- ・巻頭で前の学年を振り返り、巻末で本学年を振り返るページを掲載し、主体的に問題解決できるよう工夫されている。
- ・巻頭に「社会科の学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という問題解決的な学習のわかりやすい見取り図が示されている。
- ・児童の思考の流れに沿って、児童自ら主体的に学習できるよう工夫が見られる。

「小学社会」（日本文教）

- ・教科書の使い方がわかりやすく示され、マークの意味などをおさえてから学習に臨める工夫がされている。「学び方・調べ方コーナー」では、適時、調べ方・読み取り方・表現方法などの工夫が示されている。
- ・児童の話し合いの場面で発言例を示したり、様々な立場の人のインタビューを掲載したりして、児童が多角的に考えられるようにしている。「さらに考えたい問題」で、社会への関わり方を選択・判断する場面を位置づけている。
- ・巻頭の「社会科の学習でたいせつなこと」で学習内容のポイントが書かれており、学習の見通しをもち、主体的に問題解決できるよう工夫している。
- ・「わたし（たち）の問題」「学習問題」「さらに考えたい問題」と問題解決的な学習を進める上で、学習の問題の質的な広がりや深まりがわかるようになっている。
- ・「学び方・調べ方コーナー」で基礎・基本となる学び方や調べ方をおさえている。
- ・「さらに考えたい問題」が設定されていることで、学びに連続性が生まれ、問題解決的な学習が促されるよう工夫されている。

「新しい地図」（東京書籍）

- ・地図帳の使い方が一覧で明確に示され、地図記号や索引、方位、距離などが理解しやすくなっている。頁毎にも距離や方位などが示され、正確に地図を読み取ることができる。索引にチェック欄があり、調べた言葉を確認でき、学習意欲が高まるよう工夫されている。
- ・鳥瞰図から地図への移行が丁寧に扱われており、児童が位置や空間的な広がりに着目して学校の周りの様子を捉えることができるように工夫されている。日本の貿易の様子を見開き2ページで掲載し、児童が日本の貿易相手国の位置を捉えやすくなるよう工夫している。
- ・自然災害や防災についての資料を提示し、地域や国土の自然災害の学習において問題解決のための教材として効果的に活用できるようになっている。
- ・様々な縮尺の地図が収録されている。また、都道府県の特徴が

| | |
|------|---|
| | <p>わかるように農産物や名産品等、観光地のイラストを入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳の使い方、読み取り方、活用の仕方についての資料を載せ、主体的な学習ができるよう工夫している。 <p>「楽しく学ぶ 小学生の地図」(帝国書院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳の基本的な読み方(土地利用、地図記号、縮尺、索引など)が、わかりやすく説明されている。「トライ」や「地図マスターへの道」では、色々な見方で地図を楽しみながら学習できる。表やグラフ統計などを見やすくする工夫が随所に見られる。 ・「地図って何だろう」で地図学習の導入を行い、児童が位置や空間的な広がりに着目して学校の周りの様子を捉えることができる工夫がされている。 ・各ページ・各図で大切なポイントについて、児童の視点に立ったキャラクターの台詞によって示唆したり気づかせたりすることで、地図帳への親しみをもたせている。 ・学習内容に合わせて様々な縮尺の地図が収録されている。また、「広く見わたす地図」では、都道府県の特色や位置関係、名産品や観光地のイラスト、交通網を目立たせるなどの工夫がある。 ・児童にとって見やすさが工夫され、「地図マスターへの道」のコーナーなどで地図帳の積極的な活用が促されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | 学習の仕方、進め方について、どの発行者も教科書の中に提示されているということだが、具体的にどのような工夫をしているか。 |
| 事務局 | 「まなび方」や「学び方のてびき」などコーナーが設けられ、学習場面に応じた調べ方や表現の仕方など見通しをもって学ぶための工夫がなされている。 |
| 委員 D | 問題解決的な学習につながる工夫がなされていると報告があったが、もう少し詳しく教えてほしい。 |
| 事務局 | 一つの学習の中で主体的に学習活動が取り組めるように、「つかむ」「調べる」「まとめる」さらに「つなげる」といった学習過程が明確に示されている。 |
| 委員 D | 具体的にどんな工夫があるか。 |
| 事務局 | つかむ場面では、学習問題を引き出せるよう分かりやすい資料やグラフ等を提示している。「調べる」では、豊富な資料と思考するための手立てを明記している。また、「まとめる」では学習問題を解決する様々な活動を位置づけている。 |
| 委員 C | 帝国書院で基本的な地図帳の読み方がわかりやすく説明されているとあるが、詳しく教えてほしい。 |
| 事務局 | 3年生から6年生までの発達段階に合わせ、地図の導入から使い方までを丁寧に扱っている。 |
| 会長 | 次に算数の報告を願う。 |

事務局

「新しい算数」(東京書籍)

- ・問題解決の内容が身近なものなので、考えやすく、これからの生活にも生かせることができ、学習をする意味が感じられる。ヒントがキャラクターによってつぶやかれている場面が多く、自力解決ができるよう工夫されている。
- ・問題解決において、「考えるときの手がかり」や「大切な見方考え方」が示され、解決の手助けとなっている。
- ・巻頭の「学びのとびら」「今日の深い学び」では、学習の流れがわかりやすく示してあり、学習内容を生活や学習に活用しようとする態度が育つように工夫がある。
- ・単元の導入で、日常生活と学習とのつながりを意識させ、既習事項で問題解決学習ができるように工夫している。
- ・「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」があり、学習したことを活かして考えを伝え合う場面が盛り込まれている。
- ・多くのキャラクターのつぶやきで説明しているの、親しみやすくなる工夫がある。
- ・学習のめあてと学習のまとめが毎時間しっかり書かれている。

「楽しい算数」(大日本)

- ・児童の興味・関心を喚起させる必要感をもたせた課題を設定し、数学的活動で考える楽しさやできた喜びを感じることができるよう配慮されている。
- ・「ひらめきアイテム集」によって、数学的な見方・考え方をまとめることができ、新しい学習に役立つ工夫がある。
- ・「おうちで算数」「なるほど算数教室」「算数たまたまばこ」では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用できたりする工夫がある。
- ・日常生活の中から課題を見つけ、具体的な操作や体験活動と結びつけながら活動できるようにしている。
- ・コンパスの使い方など、一連の流れを写真で丁寧に示されている。
- ・1年間を振り返りやすくするために、1年間を1冊でまとめている。
- ・話し合いに重点を置いた編集であり、学び方が身につくように具体的に示されている。

「みんなと学ぶ 小学校 算数」(学校図書)

- ・既習事項を基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりすることができるよう、吹き出しが活用できる構成になっている。
- ・「3つの学びの力を育てよう」として、「①考える力」「②判断する力」「③表す力」を冒頭にまとめている。考える、説明する、比べるなどの活動が取り入れられている。4マス関係表を使って考えさせている。
- ・巻頭の「3つの学びで学習を進めよう」では、算数の学び方が明示され、児童が日常の事象から問題を見だし、協働的に解決することができるように工夫されている。
- ・身の回りのことから課題を見だし、算数と日常生活のつながりを意識させるようにしている。
- ・「ふかめよう」で、学んだことを活かして取り組むことができるようにしている。
- ・キャラクターや絵に頼らず、必要最小限なものだけ載せているので目からの情報を整理しやすい。

「小学算数」(教育出版)

- ・単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的

| | |
|------|--|
| | <p>活動に取り組めるように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのマップ」により前学年までの見方・考え方が示されており、問題解決の手助けとなる工夫がある。 ・「学んだことを使おう」「広がる算数」「開け！算数ワールド」等では、学習したことを使って、日常場面の問題を解決したり、発展的に考えたりできるように工夫されている。 ・日常生活から算数の課題を見だし、授業の流れを意識して取り組めるようになっている。 ・「算数のミカタ」や「考えるヒント」を設定し、ふり返しなどの学習に自分で取り組めるようにしている。 ・全学年の巻末に資料ページが設けられ活動に取り組みやすい。 ・図や絵が見やすく色づけされている。 ・「学んだことを使おう」では、日常生活と算数とを結びつけ日常生活の中で算数を使えるようにしている。 <p>「わくわく算数」（啓林館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて児童の思考と学習展開に隔たりが生じないように、スモールステップで展開されている。 ・演算決定のための数直線や関係を表す関係図を、系統的に学ぶことができるように工夫されている。 ・「学びをいかそう」「算数ラボ」「算数の自由研究」「わくわく算数ひろば」等では、日常生活に算数の知識・技能や考え方を活用できるように工夫されている。 ・「算数資料集」が設けられ、個に応じた指導ができるようにしている。また、自分でも取り組めるようにしている。 ・キャラクターが考えのヒントやまとめを示している。 ・学びと生活がつながっているので、児童にとって親しみやすい。また、図などを使って自分の考えを表現する方法などを示し、自力解決のヒントになっている。 <p>「小学算数」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の学習の仕方が巻頭や巻末の学び方ガイドに具体的に載っているため、何度も振り返りができるよう工夫されている。 ・話し合ったり・説明したりする際にポイントとなるところを「かぎマーク」で表し、解決の手がかりとしている。「算数で使いたいことば・考え方」がまとめてあり、わかりやすく発表する手助けになっている。 ・「算数で使いたいことば・考え方」がまとめてあり、わかりやすく発表する手助けになっている。 ・生活科や社会、家庭科など、他教科とのつながりを意識して、学校生活の中で算数を使っていく意識をもたせようとしている。 ・考えを伝え合う「学び合おう」があり、考えを深められる場面を意識的に設定されている。 ・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。 ・問題文が大きめな文字で書かれていて分かりやすい。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 A | 数学的活動を充実させるための工夫とあるが、主にどんなことが話し合われたのか。 |
| 事務局 | 日常生活から課題を想起させたり、具体的な操作や体験活動を通して考えさせたりするなど、日常生活と学習活動とのつながりについて話し合われていた。 |
| 委員 D | 東京書籍は1年生において入門期の学習に特化した第1分冊 |

| | |
|------|--|
| | <p>と上の学年と同様の使い方に合わせた第2分冊という、配慮がされているが他の会社はどうか。</p> |
| 事務局 | <p>どこもスタートカリキュラムに即した形で配慮した内容にはなっているが、別冊になっているものは東京書籍のみである。</p> |
| 委員 B | <p>中学校での様子を見てみると、コンパス、分度器など道具の使い方が習得しきれていない様子が見られるが、道具の使い方の指導において各会社のちがいについて協議されたか。</p> |
| 事務局 | <p>特に協議の話題にはならなかった。</p> |
| 委員 C | <p>教科書を見ると、キャラクターが多く登場し、解決に向けてのヒントなど説明したりする様子が見られるが、どのような効果があるのか。</p> |
| 事務局 | <p>子供たちにとって親しみやすくなるような工夫がある。また、学習過程の流れがはっきりと見え、主体的活動の一助となっている。</p> |
| 会長 | <p>次に理科の報告を願う。</p> |
| 事務局 | <p>「新しい理科」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの後に「学びを生かして深めよう」が設けられ、学んだことを生かして自分の考えをもてるようにするとともに、単元末の「たしかめよう」では、得た知識の復習ができる工夫がある。予想をもとに「計画しよう」では、無理なく技能が身につくようにしている。観察・実験では、手順が写真や図を使って示されている。 ・「考察しよう(考えよう)」では、実験結果からどのようなことがいえるのかを考え、対話し、思考力や表現力を育成する場面の設定がみられる。「理科のミカタ」や「学んだことを使おう」では、考える視点や関連する既習内容を示している。さらに、「学びをつなごう」では、学習内容を振り返り総合的に考えられるような工夫がみられる。 ・単元の最初の「レッツ スタート」では、活動したり、写真や絵を見たりして、疑問を見つけ、主体的に問題がつかめるようにしている。「理科のひろば」では、豊富な写真を使って、日常生活との関連について、関心意欲を高めている。「自然を大切にしましょう。」マークを用い、自然を愛する心情を養っている。 ・予想、方法の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例を示しながら科学的に解決するためのヒントや補助をしている。高学年では、「学ぶ前の私」「学んだ後の私」で問題を科学的に解決できたかを確認している。 ・巻末に「理科の調べ方を身に着けよう」として、確実に技能が身につけられるように実験・観察の手順が示されている。 <p>「たのしい理科」(大日本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考察、考えよう」で話し合った結果を「結論、わかったこと」として、まとめることで知識が習得できるようにしている。単元末の「確かめよう」では、キーワードを使って説明させる問題があり、確実な知識の定着を図っている。また、「学んだことを生かそう」では、発展的な問題を提示し、活用する力を身につけられるようにしている。観察・実験では、手順が写真や図を使って示されている。 ・「考察、考えよう」では、実験結果からわかることを話し合い、思考力を育成する場面の設定がみられる。予想や計画立案等の |

場面では考える視点の提示がある。結果の場面では観察カードやノートの記述例が示されており、児童の表現力を引き出す工夫や整理させる工夫がみられる。

- 単元の最初に2ページ分の問題を見つけるための写真や実験、観察を見ながら、気づいたことについて話し合うことによって、問題が見つけられるようにしている。また、吹き出しによって、話合いの視点が分かるような工夫がしてある。また、「りかのたまたまばこ」では、日常生活、環境への影響、科学技術等について関心を高めている。また、環境マークでは、自然の大切さについて考えさせている。
- 導入では、既習内容を示すことで、今までの学習と関連づけて疑問が持てるようにしている。観察や実験のポイントをキャラクターの台詞で分かりやすく示されている。「理科の学び方」を示すことで、問題解決学習の流れを明確にしている。
- 問題文を緑、わかったこと（結論）を青で統一して見やすく表記している。

「みんなと学ぶ 小学校理科」(学校図書)

- 「考察、結果から考える」をもとに「わかったこと」がまとめであり、ノートの記入例を示し、知識の定着を図っている。また、「問題を見つけよう」の前にまとめがあり、知識を使って問題が発見できるようになっている。また、単元末に「まとめてみよう」として復習できる問題があり、知識の確実な定着を図る工夫がある。
- 考察場面では、考察する視点が具体的に示され、思考力を育成する場面の設定がみられる。問題を見つける場面や実験計画を立案する場面においても児童が発想し、話し合う活動が設定され、思考や表現ができるような工夫がみられる。児童のノートの記述例が示され、児童の表現力を引き出せるような工夫がみられる。
- 単元の最初に2ページにわたる大きく、身近な写真を使い、これから学習する内容についての問いかけをしながら、学習の流れを説明している。「調べていこう」では、条件をそろえ計画する、整理して調べる、関係づけて考えるについて、説明している。また、「自然を大切にするために気をつけること」マークでは、自然や環境を大切にするための注意を行っている。
- 予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例を示しながら科学的に解決するような工夫がされている。考察では、考える視点が示され、結論を導けるような工夫がされ、さらに新たな問題を見つけられる工夫もされている。
- 巻末に「何年生で学んだこと」として、学習内容がまとめて提示され、復習できるようになっている。

「みらいをひらく 小学校理科」(教育出版)

- 「結果から考えよう」で考えたことをもとに「結論」をまとめ、知識の定着を図っている。単元末に「確かめ」があり、学習内容の確認ができるように工夫されている。また、「予想しよう計画しよう」と「実験」の間に、観察の仕方や実験器具の使い方の説明が載っており、確認しやすい配慮がされている。
- 予想を確かめる実験計画を考える具体例が提示されている。考察の場面の「結果から考えよう」では、どのような結果から自分の予想を確かめられるのか考えるような工夫がみられる。「学びを広げよう」では、学習内容を基に考え、説明する場面が設定され、思考力とともに表現力の育成の工夫がみられる。
- 単元の最初の「見つけよう」では、写真や活動をとおして、主体的に問題が見い出せるようになっている。「学びを広げよう」では、分かったことを生活にあてはめたり、「資料」では、学

| | |
|------|--|
| | <p>習に役立つ資料がのっていたり、「科学のまど」では、学んだことに関係のある身の回りの話がのっていて、興味関心を高めている。「地球となかよし」マークでは、生命を大切にすることを大切にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入では、今までの学習や経験を活かして問題を見つけだせるような工夫がされている。また、キャラクター同士で予想をしたり、計画に必要なことを出し合ったりして、見通しを持ちやすくしている。 「何年で学んだこと」として、次学年につながるような学習の振り返りが出来る資料が巻末についている。 <p>「わくわく理科」(啓林館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「結果から考えよう」で考えたことをもとに「まとめ」を行い知識の定着を図っている。単元末の「ふり返ろうまとめノート」で振り返り、「たしかめよう」「活用しよう」で、知識の定着と応用の力が身に着けられるよう工夫されている。また、「予想と計画」や「実験、観察」に器具の扱い方が示され、すぐ確認できるようになっている。 「結果から考えよう」では、結果を基にした考察が示され、児童の思考の助けとなるような工夫がみられる。単元の導入と終末での「考えてみよう」では、学習内容や思考をつなげて考えるようになっており、「ふり返ろうまとめノート」では、図や絵、表と文などを使ってまとめ表現力が高められるような工夫がみられる。 「見つける」では、身の回りのことやこれまで学習したことの中から不思議を見つけるから「問題をつかもう」へと見つけた不思議について話し合う活動を設定している。「自然を大切にしましょう。」では、自然を大切にすることや環境を守ることを説明している。 予想、計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例から科学的に解決へと導いている。全学年において、導入段階で「はじめに考えよう」終末段階で「もう一度考えよう」を表記し、科学的に解決できたかを確認している。 各学年で、植物探検カード・くもの観察カード・月の満ち欠けモデル・プログラミング用シートとシールなどの資料が豊富にある。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 E | 理科は好き嫌いがはっきりする教科になるが、各会社においてどんな興味・関心を引く工夫がされているか。 |
| 事務局 | すべての会社において、子供たちの興味をひく、大きく分かりやすい写真資料を活用している。また、教育出版では科学の専門家からのメッセージということで、理科を学ぶ楽しさを説明している。 |
| 委員 A | 理科の学習では、実験や観察などで多くの資料情報が必要になってくると思うが、それに伴い教科書ではどんな配慮がされているのか。 |
| 事務局 | 今回、すべての会社において QR コードを載せ、学習に合わせた参考資料や補足資料などをインターネット情報として得られるようになっている。 |
| 委員 C | 安全性への配慮について、「注意」表示や「危険」表示等があるが、調査研究の中で、特に話し合いがもたれていたか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>理科の授業では、安全面への配慮は大変重要である。どの教科書についても、安全面についての十分な配慮がされており、注意が喚起されている。</p> |
| 会長 | <p>次に生活の報告を願う。</p> |
| 事務局 | <p>「ときどき わくわく あたらしいせいかつ上 あしたへ ジャンプ 新しい生活 下」 (東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」は、学習活動や生活に即した習慣や技能を身に付けるのに役立つように示されている。活動の見通しが容易に立てられるように、児童の参考作品が具体的に示されている。 ・思いや願いを実現していく学習過程で、児童が思考・判断・表現している姿が、写真、挿絵、吹き出し、作品例等で示されている。気付いたことを考え、表現することができる多様な表現活動や交流活動が豊富に示されている。 ・学びのプロセスがイラストでのせてあったり、単元末などに「できるようになったことをふりかえろう」という自分自身を振り返るページが設けてあったりと、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。 ・見つける、くらべる、たとえる、さわる、きく、においなど、体全体を使って、対象と直接関わる活動が示されている。 <p>「たのしい せいかつ 上 なかよし たのしい せいかつ 下 はっけん」(大日本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうどうぐばこ」は、技能が高められるような内容が示されている。「せいかつことば」は、児童の思いや考えにつながる言葉が紹介され、知識が広げられるように工夫されている。 ・体験したことで生まれた思考や気付きを多様な方法で表現できるように、活動の方法や作品例が示されている。同じ場面を白黒からカラーに変化させる写真から、児童間の気付きや発見の交流ができるように工夫されている。 ・子供たちがゴールに向かって自信をもって取り組むことができるように、すべてのページに風船マークでめあてが書かれている。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」は、積極的に学ぶ手がかかりとなっている。 ・観察カード、ポスター、ICTの活用などの多様な表現方法が示されている。伝える対象を明確にし、発達の段階に沿って伝え合う人数を変えている。 ・各活動単位で学習カードや作品など児童の表現物が多数例示され、学習意欲が高まるように工夫されている。 <p>「みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上・下」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活科学び方図かん」では、具体的な活動や体験の方法が示され、知識・技能が身に付くように工夫されている。「ものしりノート」では、児童の主體的な活動を支援できるように示されている。 ・児童がイメージしやすくなるような活動の作品例が、数多く掲載されている。他者と伝え合い交流する活動の場面を示すことにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。 ・児童の記録の手がかりとなる発達の段階を考慮した「ものしりノート」が見開き1ページで掲載されている。巻末には様々な人と交流する場面が設けられており、自分の成長を自覚することができる工夫がされている。 ・児童の記録の手がかりとなる発達の段階を考慮した「ものしり |

ノート」が見開き1ページで掲載されている。巻末には様々な人と交流する場面が設けられており、自分の成長を自覚することができる工夫がされている。

- ・動植物等の素材との対話の場面を設定し、素材との関わりの中で多様な気づきを引き出すように工夫されている。

「せいかつ上 みんな なかよし
せいかつ下 なかよし ひろがれ」(教育出版)

- ・児童が自分の課題を明確にもつことができるように、ねらいが具体的な言葉で示されている。「学びのポケット」を繰り返し利用することで、生活上必要な技能が身に付くように工夫されている。
- ・具体的な活動や体験を通して学んだことを整理したり、言葉で伝え合ったりする多様な表現方法が示されている。「ヒント」により、活動への思考や表現がスムーズに取り組めるように工夫されている。
- ・児童が学習や生活に自信や意欲をもって取り組めるように、教科書全体を貫いて「まんぞくハシゴ」がかけられており、単元ごとに自己評価ができるように工夫されている。
- ・新聞、ポスター、観察カードなどいろいろな表現方法を示している。思考を整理するための活動内容が工夫されている。
- ・「ヒント」から、聞く・比べる・かぐ・見方を変えるなどの思考につなげる工夫がされている。

「せいかつ 上 まいにち あたらしい
せいかつ 下 だいすき みつけた」(光村図書)

- ・「どうすれば～いいかな」のコーナーでは、学びの中で自ら見つけたり、作ったり、気付いたりするためのヒントを示し、児童が具体的なイメージがもてるように工夫されている。
- ・「ひろがるせいかつじてん」では、活動に即した多様な表現方法が示されている。自分で考えて試行錯誤しながら活動する活動のイメージや楽しさを伝えるために、写真や吹き出し等で表現している。
- ・各単元末にシールを使って自己評価するページが設けられており、付録のシールに自分の思いを書き込んだり、自分自身を振り返ったりすることができ、次の活動への意欲付けにもつながる工夫がされている。
- ・「ひろがるせいかつじてん」では、気づきのポイントや観察の視点、表現方法が紹介されている。
- ・児童の関心をさらに広げたり、習慣や技能を定着させたりできるようにするための豊富な資料が示されている。

「わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下」(啓林館)

- ・児童が見通しをもって活動に取り組め、主体的な学びにつながるような「めくり言葉」が示されている。「がくしゅうずかん」には、活動がさらに楽しくなるヒントが示されている。
- ・「くらべる・ためす・くふうする」の活動で生まれた気づきや思いが、児童間の学びや交流の例示で段階的に示され、考えを深めたり広げたりできるように工夫されている。
- ・「できるかな、できたかな」では気付いたことや分かったことを主体的に確かめることができるように、活動を振り返る視点の例が示されている。単元末の「ぐんぐん」では、自らの成長を実感できるような工夫がされている。
- ・「ひろがるきもち」コーナーでは、単元の学習後も、児童が自らの今後の生活に生かせるように配慮されている。
- ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成で、活動の流れが分かりやすく示されている。

| | |
|------|---|
| | <p>「わたしとせいかつ 上 みんな なかよし わたしとせいかつ 下 ふれあい だいすき」(日本文教社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の場面を多く取り入れ、毎時間記号を使った学習の目あてが示されている。「ちえとわざのたからばこ」では、学習する基本的な知識や技能、学び方が示されている。 ・活動のイメージや児童間の交流がしやすいように、活動の写真や作品例が数多く示されている。伝え合いの活動例として、新聞・ポスター・写真・劇等、多様で豊かな表現方法が示されている。 ・どの時間に「学びに向かう力、人間性」を育ていけばよいのかが、3つの柱に対応したためあてで分かりやすく提示されている。活動への興味・関心を高めることができるように、活動の実践例が工夫されている。 ・児童が思いを込めて活動する姿、比べ・試す手ごたえのよさに気付きを深める姿が絵や写真で示されている。 ・生活や学習で参考となるスキルや安全、生活習慣などについて紹介されている「ちえとわざのたからばこ」が上下巻末に収録されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 D | 生活は、小学校1、2年で使用される教科書であるが、保幼小のつながりからその配慮としてスタートカリキュラムが入っているが具体的にどのような内容になっているのか。 |
| 事務局 | 幼児期の教育に近い活動を最初は提示し、それに関連づけて徐々に小学校の学習につながる内容へ移行させている。 |
| 委員 D | すべての会社において、スタートカリキュラムが明記されているのか。 |
| 事務局 | ページの差はありますが、すべての会社において入門期の学習を丁寧につなげるためのスタートカリキュラムが設定されている。 |
| 委員 C | 学習がまだ定着し切れていない低学年が、興味・関心をもって学習に取り組めるように学校図書では児童が学習のイメージがしやすい工夫をしている報告があったが、他の会社ではどうか。 |
| 事務局 | 学びのプロセスをしっかりと示したり、イラストや興味・関心を引く写真資料がどの会社でも載せている。 |
| 会長 | 次に音楽の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「小学音楽 おんがくのおくりもの」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮して題材や教材を配列し、弾力的な活用ができ、また継続的・発展的に学習できるように工夫されている。 ・児童の思考の流れに沿うような活動手順が示されており、作品例やワークシート例、活動のポイントの吹き出しなど、児童が思いや意図をもって表現したり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするための情報が示されている。 ・見通しをもって学習に取り組むために、見開きごとに学習のねらいと学び方を示唆する「まなびナビ」、学び合うためのヒントを示した「学び合う音楽」が設定されている。 ・身の回りで見つけた音を音遊びや即興的に表現する音楽づくりの学習につなげられるよう「音のスケッチ」として各学年の発達の段階に配慮した学習内容を設定している。また、くらしの中の声の表現など社会における音や音楽についても取り上 |

| | |
|------|---|
| | <p>げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や色覚特性をもった児童への配慮がされている。著作者の創造性を尊重する視点から名前にふりがなを加えている。 <p>「小学生のおんがく」（教育芸術社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材や教材が系統的・発展的に配列され、学びにつながる題材構成になっており、積み重ねや繰り返しの学習ができるように工夫されている。 ・教材及び題材内で他の活動と関連させながら学習活動が進められるようになっており、作品例やワークシート例、グループ活動時の会話の吹き出しなど、児童が思いや意図をもって表現したり音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするための情報が示されている。 ・作曲者からのメッセージが紹介されたり、音楽をつくった人、演奏する人の工夫を考える活動が取り上げられたりするなど、著作者を意識した活動が示されている。 ・生活の中の音、自然の音など身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習と関連づける活動が設定され、各学年の発達の段階を考慮した無理のないステップを踏めるように工夫されている。また、音や音楽にまつわる内容のコラムも設けられている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 E | 時代の流れか、音楽でも二次元コードで学習のサポートを促す工夫がされているようだが具体的にどのような内容があるのか。 |
| 事務局 | 実際に楽譜のメロディーを聴けたりするなど、学習の内容を理解しやすくするための動画を公開している。 |
| 委員 A | グローバル社会の中で、日本の良さを見つめ直す日本伝統の文化につながる教材について話し合われたか。 |
| 事務局 | 特に時間を取って話し合われてはいないが、それぞれの会社において和楽器の取り扱いや民謡等の関連する教材の確認は行われた。 |
| 会長 | 次に図画工作の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「図画工作」（開隆堂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びの資料」に、表現方法や材料・用具の使い方が丁寧に示され、表現のための知識や技能が効果的に身に付くよう工夫されている。 ・巻末の「学びの資料」に、表現方法や材料・用具の使い方が丁寧に示され、表現のための知識や技能が効果的に身に付くよう工夫されている。 ・多様な参考作品とともに、児童がどんなことを考えながら活動しているのかを吹き出しと写真で示すことで、自由な発想や構想を促す工夫がされている。 ・友達と教え合ったり作品を見合ったりする写真を取り上げて、学び合いや交流の活動を促す工夫をしている。 ・作家作品を効果的に配置したり、各地の美術展や伝統工芸品などを紹介したりするなど、表現と鑑賞を幅広く捉える工夫がされている。 ・題材のページから「造形の引き出し」へといざなうことによって、材料とのかかわり方や用具の使い方が効果的に身に付くよう工夫されている。 |

| | |
|------|--|
| | <p>「図画工作」(日本文教出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてが黒板型の枠に示され、その時間に何を学ばよいか分かりやすく示されている。 ・巻末に、表現方法や材料・用具の使い方が丁寧に示され、表現のための知識や技能が効果的に身に付くよう工夫されている。 ・工作の題材では、仕組みづくりや組み合わせ方のコーナーを設けて詳しく解説し、児童の思考や構想を支援する工夫をしている。 ・友達と教え合ったり作品を見合ったりする様子を掲載して、学び合いや交流の活動を促す工夫がされている。 ・キャラクターの吹き出しを効果的に活用して色や形について触れながら[共通事項]についての指導が円滑に行われるよう工夫されている。 ・題材のページから「使ってみよう材料と用具」のページに進むことによって、材料とのかかわり方や用具の使い方が身に付くよう工夫されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | 図工では作品作りの際に想像する過程がかなり重要になってくると思うが、それを補う工夫がなされているのか協議があったか。 |
| 事務局 | 特に協議はなかったが、作成意欲を喚起する導入ページや学習過程を計画しています。また、どちらの教科書会社も想像力を引き出す写真資料などを豊富に掲載している。 |
| 委員 E | 安全面についてはしっかりと明記されているようだが、道具の使い方についてはどのように説明されているのか。 |
| 事務局 | 使い方のポイントや道具の説明について、写真や図を用いて丁寧にわかりやすく表記されている。また、インターネットの動画でさらに詳しく見られるようになっている。 |
| 委員 C | 特別支援学級の児童も楽しんで図工に取り組んでいるが、特別支援の視点からどのような配慮がされているか。 |
| 事務局 | ユニバーサルフォントを使用し、全ての児童が等しく学べるように工夫されている。 |
| 会長 | 次に家庭科の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新しい家庭科」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ毎に「めあて」と「振り返ろう」が設定されていることで、何ができるようになればよいか分かりやすい工夫がなされている。 ・難しい言葉の解説が欄外にあることで、家庭科の学習の理解を促し、基礎的・基本的な知識や技能が理解できるよう工夫がなされている。 ・どの題材でも「話し合おう」が設定されており、自分の考えをもつと同時に、友だちの考えを知ることができるようになっている。 ・「話し合おう」「考えよう」「深めよう」と展開されているため、より深く学び、思考するような仕かけになっている。 ・「日々の備え」「日本の伝統」「プロに聞く」など専門的な情報が充実しており、主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・題材ごとに他教科との関わりやこれまでの学習内容が分かり |

| | |
|------|--|
| | <p>やすく表記されており、多面的に学ぶことができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践活動後にある「できたかな」の欄によって、身に付けさせる技能の基礎的・基本的な学習内容が振り返られるようになっている。 ・調理実習の場面では、実寸写真を提示することにより、野菜を切るときの厚さが具体的に分かるように工夫されている。 <p>「わたしたちの家庭科」（開隆堂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な語句や小見出しが、一目見て分かるような太字で表記されているため、おさえるべき知識や技能が分かりやすい。 ・巻末に「家庭科学習でよく使われる用語」「英語の用語」などが付録されており、児童にとって知りたい用語がすぐに調べられるように工夫されている。 ・「調べよう」や「考えよう」のコーナーがあり、実生活と結びつけながら、児童の思考力・判断力・表現力を育成できるようになっている。 ・題材のはじめの見出しが「なぜ何々なのだろう」と問いかけていることで、題材の学習への意欲を高める導入の工夫がなされている。 ・題材の最後に、「生活に生かそう」という問いかけがあり、学習を家庭生活に生かす機会を設定している。 ・児童が実際に活動している様子や、日常生活の様子の写真が掲載されていることによって、身近で実践的な学習課題として受け入れられるように工夫されている。 ・「生活の中のプログラミング」という資料があり、家庭科におけるプログラミング教育を提示している。 ・書面上の配置の仕方が思考の流れに沿って統一されており、わかりやすく、使いやすく工夫されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 D | 家庭科は技能教科ということもあり、個人差が出やすいがその差を埋めるための工夫について話し合われたか。 |
| 事務局 | 知識・技能の習得で話し合われた。調理や制作の手順が大きくわかりやすい資料と共に説明されている。また、難しい用語についても解説が欄外に書いてあり補足説明がついている。また、QRコードがついており、動画でさらに効果的な授業に結びつくようになっている。 |
| 委員 E | 報告の中で「生活の中のプログラミング」という説明があったが、具体的にどういうことか。 |
| 事務局 | 実習計画をプログラミング学習と関連させるための特設ページがある。 |
| 会長 | 次に保健の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新しい保健」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が添えられていたり、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。 ・「調べる・解決する」において、資料が多く示されていて、それを基に自分の考えを深める構成になっている。 ・学習の進め方が明確に例示されているので、学習の流れに沿って、主体的に話し合ったり調べたりする活動が設定されている。 ・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「ステップ 3 |

- 深める伝える」を設定し、学習できるよう工夫されている。
- ・教科書の項目として「まとめる・生かす」という項目を設定し、単元のまとめとしてテスト形式や学習のまとめとして活用できる内容を設定し学習できるよう工夫されている。
 - ・写真と文字のバランスが良く、ワークシート形式で活用できるよう工夫されている。

「たのしい保健」(大日本)

- ・習得すべき知識・技能について、イラストや写真を交えて解説されており、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。
- ・各単元の末に「活用して深めよう」の欄を設け、理解したことを自らの生活で実践するための表現力が身に付くような構成になっている。
- ・各ページに「ミニ知識」コーナーを設け、児童が知識を習得することで、関心・意欲を高めながら学習を進めることができるようになっている。
- ・各内容は、写真や図を提示するとともに、これまでの学習内容から考察できる内容を提示し、例示などの内容から学習ができるよう工夫されている。
- ・「しりょう」の内容を提示し、既習の学習から考えられるような設定が工夫されている。
- ・イラストや表などの発色が控えめなのに対して、発問や問題がはっきりと示されており、児童がポイントを押さえて学習できるようになっている。

「わたしたちの保健」(文教社)

- ・知識・技能の欄が色枠で強調されていたり、キーワードが太字になっていたりと、必要な知識・技能が見やすく整理されている。
- ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」の欄では、イラストや資料、数値をもとに、児童が主体的に話し合い活動を行える工夫がされている。
- ・「話し合ってみよう」など学習方法を示したり、課題解決に結びつくヒントを示したりと児童の学習意欲を向上させるような構成になっている。
- ・「新しい自分にレベルアップ」というタイトルの場面で、健康・安全についての理解を深める場面を設定し活動できるよう工夫されている。
- ・「発展」という項目を設定し、単元の内容に付随する内容を紹介するための場面を設定し学習できるよう工夫されている。
- ・説明のそばにイラストや写真が示されており、児童が具体的にイメージをもって学習に取り組めるようになっている。

「小学保健」(光文書院)

- ・獲得した知識・技能を整理できる学習のまとめが、単元の終わりに設定されており、着実に知識・技能を習得できるようになっている。
- ・「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」において、習得した知識を活用し、自分の考えを表現できる構成になっている。
- ・「学んだことを生かそう伝えよう」では、学習したことを基に、考えや友達へのアドバイスなど、児童が主体的に学習に取り組める構成になっている。
- ・各内容は、写真や図の提示とともに、これまでの学習内容から考察できる内容を提示し、実践的で発展的な学習ができるよう工夫されている。
- ・各内容は、これまでの学習を基に、事例等を考え深めさせる場面が設定され毎回活動できるよう工夫されている。
- ・言葉の解説が細かく提示されていたり、キーワードが太字にな

| | |
|------|---|
| | <p>っていたりと、基礎的・基本的な学習内容についてわかりやすく整理されている。</p> <p>「みんなの保健」(学研)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が添えられていたり、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。 ・全ての単元において「考える・調べる」の欄に話し合う形態が明記されていて、他の人に伝える活動によって、思考を深める構成になっている。 ・様々な場面で、実習などの体験的な学習を取り入れることで、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「まとめる・深める」を設定し学習できるよう工夫されている。 ・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「明日につなげる」を設定し学習できるよう工夫されている。 ・各単元の終わりに設定されている「生活につなげる」では、児童が習得した知識を生活実践に結びつける力を育めるよう工夫されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | サイズが A 4 判となったものがあるが、サイズについて話は出たか。 |
| 事務局 | 話題としては出されていない。 |
| 委員 E | 受動喫煙についてかなり話題になっているが、教科書ではどのように取り上げているか。 |
| 事務局 | 受動喫煙のキーワードとしては、くわしく説明がなされている。また、教科書によっては、資料として受動喫煙のポスターや喫煙できる場所について補足説明がなされている。 |
| 委員 A | 最近の子供たちは心の面で感情的になったり、落ち込みやすかったりという様子がみられるが、どのように指導がなされているか。 |
| 事務局 | 自分を振り返る活動から課題を見つけ、解決に向け話し合いをしたり、役割演技をしたりする活動をする内容の指導構成がなされている。また、補足資料として、呼吸の仕方や運動、ストレスカレンダーなど心をコントロールするための説明がなされている。 |
| 会長 | 次に特別の教科道徳の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「新しい道徳」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の前にとびらのページがあり、問題が提起され、主体的に考えることができるように工夫されている。考えるポイント「考えながら読もう」も示されている。 ・各学年に情報モラルを扱った教材を配置している。高学年で携帯電話、スマートフォンに絞って資料が作成されている。発達段階に応じて、時代にあったテーマが取り上げられている。 ・各学年に「重要指導内容」を設定し、段階的・系統的に理解を深めることができるよう工夫されている。 ・教材の初めに考えるポイントを示すことで、児童が課題意識をもつことができるようにしている。話合いの手引きとなる「考えるステップ」が掲載されている。 |

- ・教材文を掲載した読み物教科書「きづき」と、発問や体験的学習を掲載した活動教科書「まなび」の二分冊で構成されている。

「かがやけ みらい 小学校道徳」(学校図書)

- ・「まなび」には、道徳的価値を見つけ、多面的・多角的なもの見方に誘う「心のパレット」が設定されている。体験的な学び、友達との意見交流、家族や地域の方との交流を設定し、多様な考えに触れ、自分の考えを深めることができるよう工夫されている。
- ・「いじめ」「障がい」「病気」などを取り上げている教材や資料が掲載されている。
- ・「こころのパレット」では、同じ内容項目について考えの変化を見取れるように、2学年単位でタイトルが統一されて掲載されている。
- ・教科書「まなび」には、「考えよう」(話し合い活動)「やってみよう」(体験的活動)があり、問題解決的な学習や体験的な学習ができる工夫がされている。
- ・1年生は分かち書き、文節改行をしている。学年配当漢字には全て、配当外漢字にはその都度ルビを付している。用語解説が文末に表記されている。

「小学道徳 はばたこう明日へ」(教育出版)

- ・教材ごとに導入時の問いや学習の課題が明記されているため、児童に学習する価値を意識させることができる。「学びの手引き」では、発問例として「考え議論する問い」「価値理解を深める問い」「今後の行動や発展的な学習につなげる問い」が掲載されている。
- ・情報モラルについて高学年では複数の教材があったり、低学年では情報の取り扱い方についての教材となっていたり、情報機器との付き合い方を話し合う内容になっている。
- ・低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物の生き方から学ぶ教材を多く取り上げ、発達の段階に応じて教材の種類や文章量を配慮している。
- ・教材の前に拡大導入を設けている教材では、一人一人が道徳的課題についての考えをもちながら、学習に入れるようにしている。各教材では最後に発問例を挙げている。
- ・内容項目ごとに学習指導要領の四つの視点をマークで示している。目次は四つの視点で色分けされており、索引は内容項目ごとに分類して示されている。

「きみが いちばん ひかるとき」(光村図書)

- ・発達の段階や資料に応じて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、道徳的価値についての理解を深めることができるように工夫されている。
- ・全学年を通して、いじめ問題の教材コラムを組み合わせたユニットを設定し、いじめをしない、させない、見過ごさない力を育成できるよう工夫されている。
- ・全学年に命をテーマとして巻頭詩が掲載されているなど、自尊感情を育み、自らを大切に生きることを意図して編集されている。
- ・「考えよう・話し合おう」のコーナーに道徳的問題を明らかにする問いや考えを深めるための発問があり、児童が課題意識をもって学びに向かう工夫がされている。
- ・巻頭に価値項目の関連と、自分とのつながりが見開きで示されている。

「小学道徳 生きる力」(日文)

- ・「心のベンチ」では、教材と関連した内容や活動を取り上げ、道徳科以外の教育活動と関連付けて考えられるように工夫している。「道徳ノート」を活用することで、児童が自らの学習や成長の振り返りができ、教師は児童の成長を把握できるようにしている。
- ・情報モラルについて、低学年は情報の意味や影響、中学年以降は通信機器に関する教材となっており、情報モラルの問題を話し合う内容のコラムが掲載されている。
- ・1年間及び6年間を通して、系統性を意識し構成されている。スタートカリキュラムから社会の一員としての自覚を育むまでを意識し、校種間連携に配慮されている。
- ・「道徳ノート」が別冊になっており、教材ごとに書くことができるように工夫されている。また、自由記述欄を設け、柔軟に活用できるように工夫されている。
- ・「まなび」は、同じ内容項目の学習を重ねて記録でき、複数時間の学習をつなげ、積み上げ、学びを深めることができよう工夫されている。

「小学道徳 ゆたかな心」(光文書院)

- ・各教材の冒頭に導入の発問が示されている。「まとめる」の部分で、その時間に学習し「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」が確認できるようになっている。
- ・「規則の尊重」や「相互理解」などの内容項目の教材で情報モラルに関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うための考え方や態度について考えられるようになっている。
- ・巻頭に発達段階に合わせ学習の仕方や意義、内容、教科書の見方、ノートの例が示され学びの準備がしやすい。
- ・考える活動を促す紙面構成になっていて、導入の問題意識をもたせる問い、展開で多面的・多角的な考えを促す問い、終末での学んだことをまとめるための問い、発展として実践意欲につなげるための問いが全教材に掲載されている。
- ・1～3年生では全ての漢字にルビを付し、1年生ではカタカナにもルビを付している。低学年は分かち書き・文節改行が取り入れられている。全学年で、難解用語や情報は脚注で解説している。

「新・みんなの道徳」(学研)

- ・本文と出会う前に主題名を記載していない。児童が主体的に課題を発見することを大切にしている。
- ・いじめ防止につながる教材を様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。「いのちの教育」を全学年の重点におき、ユニット化している。
- ・各学年で重点とする内容項目を設け、繰り返しの指導で段階的・系統的に理解を深められるような配列にしている。
- ・特定の価値観に児童が縛られず、柔軟に考えることができるように教材の冒頭に主題名を記載しない工夫がされている。
- ・さし絵や写真、資料などを大きく豊富に載せ、効果的に配置されている。また、物語、詩、漫画、イラスト、写真での展開など、多様な形式の教材で構成している。

「みんなで考え、話し合う小学生の道徳」(廣あかつき)

- ・「考えよう 話し合おう」で話し合う協同的な学習を行うことで、他者の多様な感じ方や考え方に触れ、多面的・多角的なもの見方や考え方ができるようになっている。
- ・いじめ防止と人権尊重の観点を踏まえて、重点的な指導ができるよう全体を構成し、発達の段階に応じて、適切に取り上げら

| | |
|------|---|
| | <p>れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では「命を守る」ページを、3年生以上の学年では、特別ページ「命の教育」を設けている。また、生命尊重に関する教材の一部は、2時間連続で配置してある。 ・教材ごとに「考えよう 話し合おう」「学習を広げる」を設け、児童にとって学習課題となるめあてを示し、体験的な学習などを通して道徳的価値についての考えが深められるようになっている。 ・教材文を掲載した読み物教科書「きづき」と、発問や体験的学習を掲載した活動教科書「まなび」の二分冊で構成されている。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 D | 「考え、議論する道徳」にするために、どのような工夫がなされているか。 |
| 事務局 | 「学びの手引き」など学習の学びの流れを可視化し、発問を明示し、話し合いのきっかけ作りをしている。 |
| 委員 E | まだ、いじめ問題については、ニュースにも話題が出てくるが、調査員の話合いでは話題になったか。 |
| 事務局 | 話題として取り上げられた。全学年を通して、いじめ問題の教材コラムを組み合わせたたり、いじめ防止を最重要テーマとして、自分のこととして考えやすくしたりする工夫をしている。 |
| 委員 E | 今日的な話題となる題材はあるか。 |
| 事務局 | オリンピックやパラリンピックについての話題が入っている。 |
| 会長 | 次に外国語の報告を願う。 |
| 事務局 | <p>「NEW HORIZON Elementary」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit1 ごとの Our goal とまとめの「Enjoy communication」が概ね一致していて表現もわかりやすい。【Starting Out】で導入、【Let's Try】で単語の確認、「Your Turn」として【Let's listening】【Let's Try】などの活動の流れになっている。【Let's Read & Writing】では巻末のワークシート(「わたしのせりふ」)に例文を確認しながら1文ずつ書き込める。Unit最後の活動 Enjoy communication では、3Stepで手順が説明され、話す(やりとり・発表)時の言葉の流れが確認できる。巻末に音と文字表記の結びつきに注目した文字練習、アルファベット練習ができる「Sounds and letters」がある。 ・クラスルームイングリッシュの文例が少ない。外国の人へのインタビューの部分ではたくさんの英文を聞くことができ、分かったことを書くことで聞かれていること以上に思考力も身につけられる。英語とアルファベットの違いを問う「ことば探検」があり、表現方法を学ぶことができる。コア表現については、単語に色がついていて、重要であることが分かりやすい。「Over the Horizon」という、単元につき見開き2ページで、異文化について詳しく知ることができ、思考力を高められる。それぞれのページで書くスペースもあるが、巻末に各ユニットで使えるワークシート・サウンド&レターズ・文法についての説明がある。 ・各ユニットの終わりに2ページにわたって“Over the Horizon”という項目があり、各国の行事や文化について豊富に紹介されている。海外の様子について、カラー写真が大きく掲載されており、児童の興味・関心を引くものになっている。 |

- 過去形を2つのUnitで取り上げている。夏休みの思い出を紹介する活動から、小学校の思い出のアルバムを紹介し合う活動につなげている。Small Talkの中で、Where did you～? What did you～?を用いた表現を扱っている。別冊 Picture Dictionaryに、6ページ5・6年生の基本的な表現がある。4ページ「あなただけの表現を見つけよう」ということばを入れる活動がある。

「Junior Sunshine」(開隆堂)

- レッスンごとに学習活動が端的に日本語表記されている。基本的な語彙や表現の音声に触れる活動が主となっていて、【Let's Listen】【Let's Chant】があり、【Let's Play】では、ポインティング・ゲームやサイモンセズなどのゲームを組み込んでいる。単語や会話文の英語表記がある。レッスン最後では発表活動がある。レッスン単元の間と最後にproject1,2として、学習内容を生かして自分の思いを表現する場を設けている。レッスンごとに4線が1か所のみ用いられている。書く活動は、「文字に慣れよう」教科書後半にまとめられていて、【Let's Sing】として、JingleやSongなどの音声をもとに書く活動へつながっている。
- 3・4年生の復習ページがあるので、絵を見ながら、下に書いてある文を参考に思考力を広げながら楽しく想起できる。単語のスペルについて聞く設問はないが、プログラミングで道案内のページがある。巻末に、「中学につなげよう」で語順や過去形、単数形・複数形についてのページがあり、応用学習をすることができる。
- 各ユニットのなかで“Let's watch and think”という項目があり、外国のあいさつ、行事、小学校の様子、スポーツ、食べ物などについて聞いて、考える活動が設定されている。特別に外国の文化を紹介するページはないが、各ユニットの中に豊富に写真が掲載されているため、各国の様子についてイメージを持ちやすい。
- 過去形の学習を2つのLessonで取り上げている。夏休みの思い出を発表する活動から、思い出を絵本にする活動につなげている。What is your favorite memory?という表現を用い、過去疑問文は扱っていない。巻頭に2ページCAN-DOマップがあり、振り返りができる。巻末に6ページ学んだことリストがあり、復習したところの振り返りができる。

「JUNIOR TOTAL ENGLISH」(学校図書)

- 学習活動は日本語で細かい活動の説明があり、聞く・話す・読む・書く・紹介し合う／尋ね合うという段階が生まれ、充実している。登場人物を通して児童に身近な場面・相手・目的が設定されている。レッスンごとのキーワードを用いて、児童自身の経験や思いを考えて選びやすいような選択肢やイラストになっている。各ページに英語を書く活動があり、レッスンの最後のUse&Checkでは、学習内容の確かめと、自分のことを文章で書く活動がある。
- 巻頭に、英語が使われているシーンという導入があるので、生活における英語表記を思い出したりいろいろな場面を考えたりする思考を育てられる。クラスルームイングリッシュやあいさつについて、豊富に文例があるので、様々な表現を学ぶ事ができる。随時、書くときの注意点が記載されているので、表現力がつく。
- 文化に関する事項が各レッスンに含まれており、他国の文化について豊富に紹介されている。世界の様子については、イラストで表現されていることが多く、写真は比較的少なく、サイズも小さい。コラムが各レッスンの後ろについており、各国の文

化について日本と比べながら知ることができる。

- 単元の最初に15分ごとの学習の進め方が書かれている。過去形の学習を2つのLessonで取り上げている。夏休みの思い出を伝え合う活動から、小学校の思い出について伝え、尋ね合う活動につなげている。疑問文は扱っていない。6年生の巻頭に2ページ5年生で学習した表現がある。

「CROWN Jr.」(三省堂)

- レッスンごとに表現はやや専門的であるが日本語でめあてが設定されている。まとまりの最後の単元では学習したこと表現を生かして発表する presentation が設定され、発表について見通し・準備、コミュニケーションと順序立てて示してある。【Listen & Talk】【Listen & Write】と基本的な表現や語彙聞き取るから始まり、アルファベットやローマ字、英単語に触れる活動が多い。展開はレッスンごとに【Enjoy Listening】【Enjoy Writing】【Story】などとさまざまであるが、【Talk & Friends】【Word Chant】は全単元に組まれている。
- ジャンプというページで、プレゼンテーションの仕方を学ぶことができる。英文の少ない絵のストーリーページがある。「会話を続けるくふう」というページが巻末にあり、表現方法を学べる。
- 6年生のテキストでは「世界のまつり」について大きな写真でその様子が紹介されている。それ以外についてはイラストでの表現が多く、他社のものに比べると、外国の様子についての写真の掲載は少ない。
- 過去形の学習を2つのLesson(前後にGet Ready、Presentationもある)で取り上げている。夏休みの思い出を伝える活動から、現在の状態と過去の状態を比べて言う活動につなげている。Do you remember? という表現を用い、過去疑問文は扱っていない。

「ONE WORLD Smiles」(教育出版)

- レッスンのめあてが日本語で表記されている。最小限の英語表記でイラストが中心であるが、学習活動については、日本語で端的な説明がされている。【Let's Think】で、自分のことや比較、イラストから想像する活動がある。
- 全体的に1ページあたりの英語表記が少なく、絵や写真を見ながら様子を想像させる。芸能人やスポーツ選手など、現役で活躍する人たちの写真が使われていて、興味・関心を引き、思考力を高められる。
- 英文の書き方について、少しだけ巻末に特集があり、各レッスンのワークシートが書く活動のまとめになっていて振り返りもついている。書く活動が最後に集約されているが、分量的に少ない。
- 各ユニットの導入部分で“Let's watch”という項目があり、世界の子どもの様子について見たり、聞いたりする活動が設定されている。また、“Look at the World”では他の国の学校の様子や文化について紹介している。
- 過去形を2つのLessonで取り上げている。夏休みの思い出を絵日記にして伝える活動やWhat did you do~? を用いて尋ね合う活動から、小学校の思い出を伝え合う活動につなげている。

「Here We Go!」(光村図書)

- 身に付ける基本的な表現がUnitのタイトルになっている。すべてのUnitが4Step(Hop.Step1.Step2.Jump)で構成されていてStepごとの学習のめあてとUnitの目指すべき姿が表記されている。Let's watch, listen, chant, play, try, write

| | |
|------|---|
| | <p>と表記され、活動内容が焦点化されている。【You can do it!】ではそれぞれの Step で学習した表現をすべて合わせて文章に書き表し、発表する流れになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入として世界の「あいさつ表現」があるので、各国の人の様子を、写真を見ながら思考を巡らせることができる。絵が子供たちの親しむ漫画のような絵なので、親しみやすい。 ・言葉の準備運動という巻頭のページで表現方法の導入がある。巻末に絵辞典がついていて、たくさんの英単語に触れられる。ユニット9では中学生に向けて学習の深化が図られている。見開きの「世界の友達」のページで異文化について学べ、異国についての思考を深められる。 ・各ユニットの中には「World Tour」という世界の様子や文化に関する映像を見て、考える活動が取り入れられている。「世界の友だち」の中で世界の小学生の生活について知ることができる。写真も豊富で、児童の興味・関心を引く。 ・過去形の学習を2つの Unit で取り上げている。夏休みのできごとや感想を発表する活動から、小学校生活の思い出に残る行事を発表する活動につなげている。疑問文は扱っていない。巻末に2ページ5・6年生で学習した表現があり、学習した表現の振り返りができる。 <p>「Blue Sky」(啓林館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語・言葉を書き写す活動時・【Chant】に英語表記がある。【chant】では、アクセント表記がある。Unit は Part1, Part2, Part3 に分かれていて、Unit と Part ごとに Goal やめあてがある。【Say and Write】では英文を言い、書き写す活動の他に「聞いてわかったこと」「自分のこと」を書き込む活動が多い。5年生のみ I'd like に触れている。Unit の最後では、学習した表現を用いて自分の思いをまとめた文章で書く活動になっている。 ・Did you know? ページでは、異文化について学べる。Let's read and write のページでは、スペルや発音について学べる。チャレンジページでは、日本語で書いてある質問に答える形で、英語表記から理解したことを表現することができる。 ・各ユニットの最後に、“Did you know?” というコラムがあり、外国の文化について紹介している。ユニットの中で外国の様子についての写真の掲載があるが、サイズが小さく写真の量も比較的少ない。 ・過去形の学習を連続して3つの Unit で取り上げている。夏休みの思い出を話す活動から、What did you do~? と過去のできごとを尋ねる活動、小学校の思い出を発表する活動につなげている。巻末に1ページ Can-Do List (5・6年生で英語を学んでできるようになったことリスト) がある。 |
| 会長 | 質問はあるか。 |
| 委員 B | 小学校では今年から教科化されるが、協議の中でどんな話題が出ていたか。 |
| 事務局 | レッスンの流れについて、指導にするにあたりわかりやすいものや思考力・判断力・表現力を高められるものについて話し合われていた。 |
| 委員 B | 小中一貫の観点から話し合いは出ていたか。 |
| 事務局 | 特に話し合いには出ていなかった。 |
| 委員 D | 先程、指導するにわかりやすいものという話が出たが例えばど |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>のような観点か。</p> <p>1 ページ見開きで1時間分の指導ができる。また、学習の流れが見える表記がされているということである。</p> |
| 会長 | <p>皆様の御協力により、全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。感謝申し上げます。これで議長の任を解かさせていただきます。</p> <p>事務連絡を事務局より申し上げます。 第3回選定委員会は、7月18日に行田市産業文化会館2B会議室にて行う。よろしく願います。連絡事項は以上である。</p> |
| 司会 | <p>大変お疲れ様でした。以上で、第2回第19採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p> |